

児童学科科目

授業科目名	右上表示	授業科目名	右上表示
児童学研究法	児童-1	音楽療法的アプローチ	児童-23
児童学特講	児童-2	小児保健学 1	児童-24
発達心理学 1	児童-3	小児保健学 2 (精神保健を含む)	児童-25
発達心理学 2	児童-4	小児栄養学	児童-26
青年心理学(テキスト)	児童-5(1)	母性保健	児童-27
青年心理学(後期エニタイムスクーリング)	児童-5(2)	子どもと造形 1 (夏期スクーリング)	児童-28(1)
人格発達論	児童-6	子どもと造形 1 (集中スクーリング)	児童-28(2)
表現アートセラピー-基礎	児童-7	子どもと造形 2	児童-29
表現アートセラピー-1	児童-8	子どもと造形 3	児童-30
表現アートセラピー-2	児童-9	児童文学	児童-31
応用表現アートセラピー	児童-10	児童文学特論	児童-32
基礎カウンセリング 1	児童-11	幼年文学	児童-33
基礎カウンセリング 2	児童-12	児童文化論	児童-34
分析的アートセラピー (描画)	児童-13	子どもと絵本	児童-35
発達臨床支援	児童-14	絵本学概論	児童-36
幼児教育方法論	児童-15	児童福祉	児童-37
保育・教育課程論	児童-16	家族心理学	児童-38
保育内容総論	児童-17	算数	児童-39
乳幼児教育論	児童-18	生活	児童-40
子どもとマルチメディア	児童-19	子どもと健康・運動	児童-41
音楽表現	児童-20	子どもと人間関係	児童-42
子どもと表現	児童-21	子どもと環境	児童-43
身体クリエイティブ表現	児童-22	子どもと言葉	児童-44

児童学研究法（夏期スクーリング）

担当教員：菅井 洋子

3年次～ 必修2単位

スクーリング科目／2026年度

概要

「児童学研究法」では、子どもに関する多様な研究法について学びます。また、論文検索・講読、研究法体験等グループワークやディスカッションを通して研究法に関する理解を深めることを目的とします。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（manaba, Zoom, Microsoft Teams 利用）】

学位授与方針との関係

児童 DP 1

到達目標

- ① 子どもに関する多様な研究法について、具体的に説明できる。
- ② 子どもをめぐる研究について、学んだ研究法をもとに考えることができる。

授業計画

1. 児童学研究法とは
2. 子どもに関する多様な研究法
3. 子どもをめぐる研究の方法
4. 多様な研究法の実際：論文検索・講読
5. 多様な研究法の実際：グループワーク
6. 多様な研究法の実際：まとめ
7. 子どもの姿から探究する方法1：研究法体験
8. 子どもの姿から探究する方法2：グループワーク
9. 子どもの姿から探究する方法3：まとめ
10. 子どもの声から探究する方法1：研究法体験
11. 子どもの声から探究する方法2：グループワーク
12. 子どもの声から探究する方法3：まとめ
13. 児童学研究法1（子どもをめぐる研究の構想）：ディスカッション
14. 児童学研究法2（研究法、考察）：ディスカッション
15. まとめ

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

これまで学んできた児童学や自分の興味関心あるテーマと関連させながら復習し、次の授業に向けた予習に取り組んで下さい（2時間程度）。

② 使用教科書

特に指定しません。配信するパワーポイントの資料をもとに授業を進めます。

③ 参考書

授業中に関連文献等を紹介します。

④ 準備するもの

パソコン、インターネット環境、他は授業時に伝えます。

⑤ 成績評価

授業やグループワーク・ディスカッションへの参加 30%

課題・発表 20%

レポート（最終日提出）50%

⑥ 学生へのメッセージ

遠隔授業に主体的に参加し、子ども理解を深める研究法についてグループワークやディスカッションを通して考え学びあい、今後につながる授業となることを期待します。

⑦ 追試験

対象外科目

児童学特講（夏期スクーリング）

担当教員：清水 友理

3年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2026年度

概要

児童文化財には、それぞれの時代の子どもを取り巻く状況や社会問題が如実に反映されます。この授業では「子どものための物語」という観点から、絵本や児童文学、テレビアニメやゲームといった様々な形式やジャンルの児童文化財を読み解きます。それぞれの作品に子どもを取り巻くどのような状況がどのように描かれているかを探り、子どもの世界に対する理解を深めます。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（manaba, Zoom利用）】

講義形式で進めますが、ディスカッションやグループワーク、発表などの活動も取り入れて展開します。

学位授与方針との関係

児童 DP 1

到達目標

- ・今日の子どもたちを取り巻く状況や社会問題を知り、子どもの世界に対する理解を深める。
- ・様々な形式やジャンルの児童文化財に触れ、その多様さを味わうとともに、基本的な講読の方法を身に付ける。

授業計画

【1日目】 子どものための物語の基本	【4日目】 子どものための物語を描く“リアル”
1. イントロダクション:授業の進め方について	9. 学校が舞台の作品で描かれるもの
2. 子どものための物語とは：児童文学を例に考える	10. 子どもの物語のテーマの広がりとは
3. 昔話：声と語り、そして創作へ	
【2日目】 子どもの成長はいかに描かれてきたか：型と絵	【5日目】 子どもの物語とジェンダー
4. 子どもの成長物語の型と変遷：神話からゲームまで	11. アニメに見るジェンダー：女の子のための物語の変化
5. 絵本の絵を読む：絵は子どもの心をどう描くか	12. 映画、舞台にみるジェンダー：男の子のための物語のゆくえ
【3日目】 モチーフで読み解く物語：「人間でない」もの	【6日目】 「子どもの」物語とは、そして「子ども」とは
6. 人間ではない存在が描くもの①：人魚	13. 子どもの本に見る社会問題：時代を映す鏡としての物語
7. 人間ではない存在が描くもの②：動物	14. 多様性社会の中で：大人と子どもの境界
8. 人間ではない存在が描くもの③：空想の友だち	15. まとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前に授業内で扱う作品に目を通していただいたり、作品に関する意見を考えてきていただくことがあります。（目安：1.5時間）

②使用教科書

特にありません。授業は担当者の用意した講義スライドを中心に進めます。

③参考書

適宜、授業内で紹介いたします。

④持参するもの

遠隔授業ですので、zoomを使用できるパソコンやタブレット等の機器とインターネット環境をご用意ください。

⑤成績評価

授業参加度 40%、授業内課題 30%、最終レポート 30%

主体的に授業に参加し、活動する姿勢を評価いたします。

⑥学生へのメッセージ

大人になってから子ども向けの物語に触れると、幼い頃には気づかなかった面が見え、その奥深さと多様さに驚かされます。受講者

の皆様もこの授業を通して、児童文化財との再び、もしくは初めての出会いを楽しみながら、「子どもとは何か？」を探る手がかりを得ていただければ幸いです。

なおスケジュールや取り扱う作品は受講者数などに応じて適宜、変更・前後する場合があります。

⑦追試験

対象外科目

発達心理学1 (テキスト)

担当教員：安藤 朗子・松原 乃理子

1年次～ 必修2単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2026年度

概要

発達心理学1では、発達という概念や代表的な発達理論、発達をとらえる方法などの発達心理学の基本を学ぶとともに、人間関係の発達と言語の発達について領域別に学習する。それらの発達に関する知識をもとに、子どもの発達を促す保育や集団での育ちを具体的事例を参照しながら学習する。さらには、子どもを取り巻く環境の問題とそれらの問題解決に向けての支援について考える。テキストの第1、2、3、4、5、10、11、14、15章が学習の対象箇所である。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ①発達心理学の意義を理解し説明できる。
- ②生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性や人との相互的にかかわりの重要性について説明できる。
- ③子どもの発達過程と子育てや保育、教育を関連づけて説明できる。
- ④子どもの発達や子育てを取り巻く課題とその支援について説明できる。

学習の進め方

下記の[内容]の掲載順に、章ごとに学習を進める。その際、テキストに掲載されている引用文献・推薦図書をはじめ、各章の内容に関連のある文献を調べ、様々な文献を読むことを通して、理解を深める。レポートの作成にあたっては、下書きを作成し、要点が整理されているか等を確認する。

内容

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. イントロダクションー学習の進め方についてー(学習の手引) | 8. 子育て支援 (第14章) |
| 2. 発達とは何か(第1章) | 9. 保・幼・小連携 (第15章) |
| 3. 発達を支える理論(第2章) | 10. レポートの作成に向けて(1)発達をとらえる方法 (第3章) |
| 4. 人間関係の発達(第4章) | 11. レポート作成に向けて(2)文献収集 |
| 5. 言語の発達(第5章) | 12. レポート作成に向けて(3)観察、調査等のフィールドワーク |
| 6. 発達を促す保育(第10章) | 13. レポート作成に向けて(4)レポートの作成及び推敲 |
| 7. 集団のなかでの育ち(第11章) | 14. 科目修了試験に向けて(1)レポートの添削内容をもとに復習 |
| | 15. 科目修了試験に向けて(2)テキストの総復習 |

テキスト・参考書

①テキスト 子どもの育ちを支える発達心理学 高櫻綾子・請川滋大編著 朝倉書店 2013、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 幼稚園教育要領（平成29年3月告示） 文部科学省

成績評価

①レポート 課題の理解30%、学生自身の学習成果50%、レポートとしての完成度20%

②科目修了試験 論述形式。知識の理解と修得50%、考察力20%、記述力15%、論理的思考力15%により総合的に評価する。

発達心理学2 (テキスト)

担当教員：本蔵 達矢

1年次～ 必修2単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2026年度

概要

人はいかに社会文化的な関係の中で発達していくのか。本科目では、発達心理学の理論だけでなく、子どもの育ち全体を理解し、実際の保育や教育に応用できることを目的とする。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

発達心理学の理論を身につけるとともに、社会の動向や子どもの姿に目を向けながら実践的に考えることを通して理解を深め、理論に即した自分なりの考えをもち、またそれを表現できるようになる。

学習の進め方

テキスト全般を参照し、発達心理学におけるさまざまな領域を理解したうえでそれぞれが相互関連して発達する様子の理解を深める。各章の内容に関する文献・論文を調べて、それらを読むことで理解を深める。各章の内容に関連する資料（新聞、雑誌、実際に見聞きした事例など）を調べ、社会的な動向を踏まえたうえで理解を深める。

内容

第6章 発達を支える学習：

1. 発達理論の復習（第2章）
2. 学習理論の理解を深める
3. 現代社会でどのように生かされているか（第13章との関連）

第7章 思考と知能の発達：

4. 知能とは何か、どのようにして測定できるか考える
5. 知的な発達のプロセスを知る
6. ピアジェとヴィゴツキーの発達理論を理解する

第8章 自己と感情の発達：

7. 自己の発達を理解する
8. 感情の発達を理解する
9. 自己や感情の発達に関係する子どもの発達について理解を深める

第9章 遊びのなかでの育ち：

10. 子どもにとっての遊びの意味を理解する
11. 遊びの発達と知能の発達の間を関連を理解する
12. 子どもの遊びの中での発達を理解する

第12章 多様な環境の中で育つ子ども：

13. 子どもの置かれている現代社会の特徴を考える

第13章 子ども多様性としての障がいの理解：

14. 保育の場面で問題になる子どもの態度の理解を深める
15. 障がいのある子どもの対応について考える

テキスト・参考書

①テキスト 子どもの育ちを支える発達心理学 高櫻綾子、請川滋大 朝倉書店 2013、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 ①新乳幼児発達心理学—もつと子どもがわかる 好きになる 繁多進監修 福村出版社 2010

②エピソードで学ぶ乳幼児の発達心理学 岡本依子・菅野幸恵・塚田・城みちる 新曜社 2012

成績評価

①レポート 課題の理解20%、学生自身の学習成果60%、レポートとしての完成度20%

②科目修了試験 論述形式。理解力、考察力、論理的記述力から総合的に評価。

その他

発達心理学は人間の生涯すべてを視野に入れた学問です。その中でも乳幼児の発達について本科目では学んでいきます。テキスト学習と合わせて、近年の研究や社会的な動向にも目を向け、具体的な事例や自分自身の経験も取り入れて、子ども理解・人間理解を深めていくことを期待します。この科目は「教職に関する科目」でもあり、教職課程の教育の基礎的理解に関する科目、施行規則に定める科目区分は幼児理解の理論及び方法です。

青年心理学 (テキスト)

担当教員：山本 奨

2年次～ 選択2単位

テキスト科目／2026年度

概要

青年及び青年心理学に関する基礎的な知見、自己形成や認知といった青年の中核的特徴、青年を取り巻く環境と青年のかかわりや現代の青年をめぐる問題、研究法について学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童 DP1

到達目標

- ① 青年の心理学的特徴についての基本的知見を理解しそれを端的に説明できる。
- ② 現代の青年の諸問題を心理学的に理解しそれを端的に説明できる。
- ③ 青年心理学の研究手法が理解でき先行研究の趣旨を読み取ることができる。

学習の進め方

テキスト及び「学習の手引」に従って、青年期の始まりと終わり、青年、青年期というものの歴史的成立の経緯、青年心理学の歴史と主な理論、青年の自己形成、青年と家族及び社会との関わり、反社会的行動の一つとしての非行、非社会的行動の一つとしての不登校といった現代的な問題に触れ、青年を理解するための心理学的方法について学ぶ。

内容

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 青年期の始まりと終わり | 9. 非行とその対応 |
| 2. 青年期の歴史的成立及び青年心理学の歴史 | 10. 不登校とその対応 |
| 3. 青年の自己形成とアイデンティティ | 11. 病的なひきこもり |
| 4. 認知の発達 | 12. 青年期と性 |
| 5. 家族と青年 | 13. 文化と流行 |
| 6. 学校と青年 | 14. 青年を理解する方法 |
| 7. 地域と青年 | 15. 青年心理学研究の方法 |
| 8. 就労と労働 | |

科目修了試験に向けては、テキストの学習を中心に、各トピックの内容理解を深めるとともに、テキスト本文中に太字で書かれた単語について一通り説明できるよう準備することが望ましい。

テキスト・参考書

①テキスト

やさしい青年心理学〔新版〕 白井利明・都筑学・森陽子 有斐閣 2012
学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書

よくわかる青年心理学 白井利明編 ミネルヴァ書房 2009
レクチャー青年心理学 高坂康雄ほか編 風間書房 2017
青年心理学 高橋一公編 サイエンス社 2020

他、テキストの各章末及び巻末に具体的に書名が挙がっているので、各自検討して参考にすること。

成績評価

①レポート

到達目標に沿って総合的に評価する。レポートは科学的論文であるから、①単に自分の印象・感想を述べるのではなく、事実の積み重ねに基づいた記述をすること、②文献を用いて基本的な概念を正しく明確に説明すること、③適切な段落の設定、④適切な段落間の関係、⑤論旨の明確さ、⑥主語述語等が適切に使われていること、⑦誤字や脱字がないこと、⑧剽窃などの不正を行っていないこと、それに関連して⑨引用文献を適切に記載すること、⑩字数を守ること、に関し留意して作成すること。

②科目修了試験

語句の説明問題と論述形式問題が中心となる。基礎知識や理解力、考察力などから総合的に判断する。

その他

レポートを作成する前に、レポート課題集などでレポートの書き方についてよく学んでください。序論・本論・結論の構成になるよう留意しましょう。レポート評価の大事な観点として、テキストの理解度ををはかることが挙げられます。テキストの内容について理解したことを簡潔にまとめ、その後に疑問や反論・自分の考えなどを、根拠を示して書くように心がけてください。文献から引用した箇所は「 」でくくって、ご自身の文章とは分けて明示してください。レポートの終わりに、引用文献・参考文献を記載することを忘れなないようにしましょう。

青年心理学（後期エニタイムスクーリング）

担当教員：山本 奨

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2026年度

概要

青年及び青年心理学に関する基礎的な知見、自己形成や認知といった青年の中核的特徴、青年を取り巻く環境と青年のかかわりや現代の青年をめぐる問題、研究法について学ぶ。

授業の方法

【オンデマンド型遠隔授業】

講義動画を視聴し学びを深めた上で課題を期限内に提出する。複数のレポート（小レポート・最終レポート）の期限内の提出が必須である。この「期限内」とは、エニタイムスクーリングの開講期間を指すのではなく、個別に設定される各レポートの提出期限を指す。

学位授与方針との関係

児童 DP1

到達目標

- ① 青年の心理学的特徴についての基本的知見を理解しそれを端的に説明できる。
- ② 現代の青年の諸問題を心理学的に理解しそれを端的に説明できる。
- ③ 青年心理学の研究手法が理解でき先行研究の趣旨を読み取ることができる。

授業計画

1. 子どもから大人への移行期としての青年期
2. 青年期の身体的変化と心理的影響
3. 認知と感情の発達
4. 青年の自己形成
5. アイデンティティの発達
6. 家族と青年
7. 学校と青年
8. 青年期の友人関係
9. 青年期における社会性の発達
10. 地域社会と青年
11. 青年のキャリア発達（就労・労働の問題）
12. 青年期の恋愛関係
13. 青年期の社会不適応（非行・不登校・ひきこもりなど）とその対応
14. 青年心理学研究の方法
15. まとめ～現代社会と青年～

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業初日までに必ずmanabaを確認し、教科書を読んでおくこと（5時間程度の予習）

事前課題

特になし

②使用教科書

やさしい青年心理学[新版] 白井利明ほか 有斐閣 2012

③参考書

よくわかる青年心理学 白井利明編 ミネルヴァ書房 2009

レクチャー青年心理学 高坂康雅ほか編著 風間書房 2017

青年心理学 高橋一公編 サイエンス社 2020

④持参するもの

特になし

⑤成績評価

到達目標に沿って総合的に評価する。授業では、15回の動画教材に対応して毎回小レポートを課すと共に、これらとは別に最終レポート提出を求めている。全ての課題の期限内の提出が必須である。動画教材毎に課す小レポートの提出締め切りは、エニタイムスクーリングの終期とは異なり、期間内にそれぞれ設けられているので、特に注意されたい。

⑥学生へのメッセージ

青年心理学で学ぶ範囲は広く、教科書や授業で扱う内容はその一部です。発達心理学や人格発達論など他の心理学系の科目とも関連付けて学ぶと、青年期の特徴や発達課題についての理解が深まるでしょう。青年と学校や社会との関係などにも関心を持って学習してください。テキスト科目の「青年心理学」と到達目標は同じですが、このエニタイムスクーリングでは学習者の深い思考と洞察が求められます。あらかじめ教科書を読了の上で、各課題（小レポート・最終レポート）に関し、学習者自身の思考と洞察を反映させてください。

受講に関する注意事項とレポート課題提出に関するスケジュールは、スクーリング開始前に manaba に掲載します。また連絡事項はその都度 manaba でお知らせしますので、必ず確認するようにしてください。

⑦追試験

対象外科目

人格発達論 (テキスト)

担当教員：山本 奨

2年次～ 選択2単位

テキスト科目／2026年度

概要

「人格」や「発達」は、わかりにくい概念の1つである。授業ではまずこれを吟味し、その後、人格が年齢と共に、また、周囲の環境との関わりのなかでどのように変化していくのか、また、健康な人格や「人格の偏り」というものがどういふものなのかを、主に臨床心理学的な観点から明らかにしようとする。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

人格とは何か、それがどのように発達するのかを心理学的に探究し、知識と理解を深める。

- ① 人格とは何か、どのように構成され、どのように捉えることができるかを理解しそれを端的に説明することができる。
- ② 人格がどのように形成され変容するのかを理解しそれを端的に説明することができる。
- ③ 人格と心理療法モデルとの関係を理解しそれを端的に説明することができる。
- ④ 個人の人格と文化や社会、集団との関係を理解しそれを端的に説明することができる。

学習の進め方

まずテキストを読み進めながら、用語や概念について参考書を参照し理解を深める。次にその理解の基で人格が発達するとはどのようなことであるのかを検討する。レポート課題に沿って内容を確認し、レポートを書く。

内容

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 人格心理学とは何か | 9. 心理療法との関連 |
| 2. 人格を理解する観点と理論 | 10. 心と精神の健康 |
| 3. 心理査定 | 11. 人格の探究と文化 |
| 4. 人格理論の多様性 | 12. 人格の変容と心理療法 |
| 5. 人格と集団の心理 | 13. 物語にみる人格の変容 |
| 6. 人格のはじまり | 14. 人格と存在 |
| 7. 人格の育ち | 15. 人格心理学の展望 |
| 8. ライフサイクル | |

テキスト・参考書

- ① **テキスト** 人格心理学 大山泰宏 放送大学教育振興会 (NHK 出版) 2015

テキスト一覧 (『履修の手引』に掲載) を必ず参照のこと。

- ② **参考書** よくわかるパーソナリティ心理学 吉川眞理 (編著) ミネルヴァ書房 2020

成績評価

① レポート

到達目標に沿って総合的に評価する。課題の理解 50%、学生自身の学習成果 30%、レポートの完成度 20%を目安とする。

② 科目修了試験

語句や人名の説明、人格に関する理解を問うなど論述形式が中心。基礎知識や理解力、考察力などから総合的に判断する。

その他

心理学に関する他の科目での学びを活かし、本科目内容との関連に留意しながら学習を進めてください。レポート作成に際しては、『レポート課題集』のアドバイスに従ってください。

表現アートセラピー基礎（テキスト）

担当教員：濱中 寛之

1 年次～ 選択 2 単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2026 年度

概要

表現アートセラピーとは、様々な表現（絵や粘土、コラージュ、ダンス・ムーブメント、声や音楽、ドラマ、ライティングなど）を用いる統合的芸術療法である。アート表現は、人の持つ可能性を賦活するものとして近年注目されている。この科目では、表現アートセラピーがどのような療法であり、どのような特徴を持つのかについて全体像をつかむ。テキストの実例から表現アートセラピーの実践について学び、心理的成長のプロセスを理解し、自己の心理的成長について考える。アートセラピスト・カウンセラー（臨床心理士）としての経験と実践を踏まえて、添削指導に当たる。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【印刷教材等】

テキストや参考書に基づく自主学習を行う。レポート課題の提出、レポートの添削指導を受け理解を深める。またレポート提出には LMS (manabe) の利用も可能。

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ①非言語的表現（絵やムーブメントなど）を用いる芸術療法の特徴、利点を理解する
- ②表現アートセラピーを通しての、心理的成長とはどのようなものなのかを学び、自己を振り返る作業をする。教師や対人援助職につく者が自己理解を深めることは重要である
- ③パーソンセンタード表現アートセラピーの特徴を理解する

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進めながら、参考文献に当たり理解を深める。実例を読みながら自らを振りかえる作業を進める。レポート課題を確認し、その課題についてまとめる。その際必ずレポート課題集のアドバイスと別冊の「学習の手引き」を読んでから書くこと。

内容

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1. 表現アートセラピーとはどのような芸術療法なのか | 9. 声・音・音楽 |
| 2. 表現アートセラピーは実際どのように行われるのか | 10. ドラマ |
| 3. 表現アートセラピーにおける自己回復と成長のプロセス | 11. 表現アートセラピーの歴史と哲学 |
| 4. 事例から学ぶ① | 12. ナタリー・ロジャーズについて |
| 5. 事例から学ぶ② | 13. パーソンセンタード表現アートセラピーとは |
| 6. 視覚的アート | 14. 表現アートセラピーの適用 |
| 7. ライティング | 15. 表現アートセラピーの応用 |
| 8. ダンス・ムーブメント | |

テキスト・参考書

- ①テキスト 表現アートセラピー入門 小野京子 誠信書房 2005、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 癒しと成長の表現アートセラピー 小野京子 岩崎学術出版社 2011

成績評価

- ①レポート 課題の理解 50%、学生自身の学習成果 30%、レポートの完成度 20%
 ②科目修了試験 内容の基礎的な理解と考察力などから総合的に評価する。

その他

レポート課題集の「アドバイス」と「学習の手引」を必ず読んで、レポートを書いてください。
 芸術療法の実例と自分を重ね合わせて、自身についての発見があるように学習を進めてください。
 「表現アートセラピー1」で基本的な実習を行うので、実際像をつかむために両方の科目履修が望ましい。

表現アートセラピー1（集中スクーリング）

担当教員：濱中 寛之

1年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2026年度

概要

表現アートセラピーとは、様々な表現（絵や粘土、コラージュ、ダンス・ムーブメント、声や音楽、ドラマ、ライティングなど）を用いる統合的芸術療法である。芸術療法と表現アートセラピーの理論的基礎を学び、パーソンセンタード表現アートセラピーの基礎的な演習を行う。アートセラピスト・カウンセラー（臨床心理士）としての経験と実践を踏まえた授業を行う。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【面接】

全日対面の授業を行う。講義と演習（表現アートセラピーのエクササイズ等）を交互に行う。適宜小グループに分かれてディスカッションを行い、理解を深める。

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ①人間性心理学に根ざす心理療法や芸術療法を理解する
- ②パーソンセンタード表現アートセラピーを理解する
- ③教師や対人援助職に必要なカウンセリングマインドの態度とリフレクション（内省）を身につける
- ④表現アートセラピーの実習を通して表現アートセラピーの実際を学び、自分自身についての理解を深め自己成長を図る

授業計画

- | | |
|------------------------------------|-----|
| 1. 心理療法とは | 1日目 |
| 2. 表現アートセラピーとは | |
| 3. 表現アートセラピーにおける心理的成長の事例 | |
| 4. 人間性心理学とは | 2日目 |
| 5. 心理的成長とは | |
| 6. カール・ロジャーズとカウンセリング理論 | |
| 7. パーソンセンタード・アプローチの理解 | |
| 8. パーソンセンタード表現アートセラピーとは | |
| 9. 精神科でのパーソンセンタード表現アートセラピー（1） | |
| 10. 教育、医療領域でのパーソンセンタード表現アートセラピー（2） | 3日目 |
| 11. パーソンセンタード表現アートセラピー演習(1)絵画 | |
| 12. パーソンセンタード表現アートセラピー演習(2)ムーブメント | |
| 13. パーソンセンタード表現アートセラピー演習(3)物語を書く | |
| 14. パーソンセンタード表現アートセラピー演習(4)その他 | |
| 15. ディスカッション・まとめ | |

（内容は前後することがある。11～14の演習は、適宜授業に入れ込んでいく）

- ・各授業日の最後には、リアクションペーパーを書いて提出します。
- ・最終日に、小論文試験を行います。ノートを見ること可。

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

「表現アートセラピー基礎」を未履修の人は、『表現アートセラピー入門 小野京子 誠信書房』を必ず読んでおくこと。教科書をスクーリングまでに熟読し、わからないところを書き出しておくこと。15時間程度。

②使用教科書

癒しと成長の表現アートセラピー 小野京子 岩崎学術出版社 2011

③参考書 表現アートセラピー ナタリー・ロジャーズ 誠信書房 2000 (当該書籍は現在品切れのため、図書館等での閲覧を推奨)

④準備するもの ※購入する場合、100円ショップで購入できるような材料で大丈夫です。

毎回：16色程度のクレヨンかクレパス(クーピーや色鉛筆は不可)・八つ切サイズ(380×270mmくらい)画用紙5枚・コピー用紙10枚・のり・はさみ・セロハンテープ

1日目：雑誌(3～5冊くらい)、(コラージュ用に雑誌の写真を切り取るために使います。フリーペーパーなどでも可能。)

2日目：紙粘土

3日目：ティッシュ・輪ゴム(2～3個)・机を汚さないようための紙やシート(新聞紙など)・サインペン

(出来れば用意すると良い:カラーペンと色画用紙)

⑤成績評価

授業・演習への参加態度(30%)、リアクションペーパー(20%)、最終日の試験(50%)

⑥学生へのメッセージ

本授業は、原則として3日間すべての回への出席を前提としています。欠席や遅刻があると、授業内容の理解や継続的な学びが難しくなる場合がありますので、ご留意ください。本授業では、表現アートセラピーを通して自己の内面を探求し、心理的な成長を目指します。そのため、自分自身と向き合い、他の学生と交流する意欲をもって受講することが求められます。自己理解を深めるプロセスには心理的なエネルギーを要するため、心身の準備が整っている方の受講を推奨します。

授業では、絵画や文章による表現に加え、ムーブメントなど身体を用いた実習も行います。身体感覚を通じた表現や体験に、安心して取り組める姿勢でご参加ください。

⑦追試験

対象科目

表現アートセラピー2（集中スクーリング）

担当教員：笠井 綾

2年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2026年度

概要

「表現アートセラピー1」で学んだことを基盤に、芸術療法や表現アートセラピーの理論と実践をさらに深める。表現アートセラピーのより深い演習を通して、自己の心理的成長を図り、表現アートを安全な環境で提供する方法を学ぶ。表現アートセラピスト・カウンセラー（公認心理師）としての経験と実践を踏まえた授業を行う。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（manaba, Zoom利用）】

全日 zoomによる同時双方向の授業を行う。講義と演習（表現アートセラピーのエクササイズ等）を交互に行う。適宜小グループに分かれてディスカッションを行い理解を深める。

学位授与方針との関係

児童DP1 児童DP4

到達目標

- ①芸術療法の理論とプロセスを理解する
- ②表現アートセラピーの理論と実際を理解する
- ③安全な環境をいかに提供するかを身につける
- ④自己の心理的成長を図る

授業計画

Zoomによる同時双方向型授業を行う。

(第1日前半)

1. クリエイティブ・アーツセラピーとは？
2. ウォームアップのアートワーク
3. リフレクションとシェアリングの基礎

(第1日後半)

4. パーソンセンタード表現アートセラピー
5. 安全な環境を提供するには
6. 傾聴とカウンセリングマインド（粘土のワーク）

(第2日前半)

7. 表現アートセラピーの多様なアプローチ
8. 箱コラージュのワーク
9. ライティングのワークとシェアリング

(第2日後半)

10. 表現アートセラピーの応用（臨床、福祉、教育、ソーシャルチェンジ）

11. ムーブメント・ドラマのワーク

12. シェアリング

(第3日前半)

13. クリエイティブコネクション

14. 発表

(第3日後半)

15. まとめ、ディスカッション

(内容・演習が前後する場合があります)

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

「表現アートセラピー1」を修得済であることから、同科目で学習したことを復習しておくこと。15時間程度。

事前課題 『表現アートセラピー入門』と『癒しと成長の表現アートセラピー』を読んでおくこと。

②使用教科書

『現場で活用する表現アートセラピーの実際』小野京子 編・著 笠井綾、ジョーンズ美香、濱中寛之 著 誠信書房 2024

③参考書

『表現アートセラピー：創造性に開かれるプロセス』 ナタリー・ロジャーズ 誠信書房 2000

(原書：『The Creative Connection: Expressive Arts as Healing』 Natalie Rogers, Science & Behavior Books, Inc.)

(当該書籍は現在品切れのため、図書館等での閲覧を推奨)

④準備するもの

16色程度のクレヨンかクレパス、F4のスケッチブック、コラージュ用雑誌2～3冊、紙箱（お菓子の箱、ゆうパックの箱など）のり、はさみ、セロテープ、新聞紙、紙粘土または彫塑用粘土一個。

⑤成績評価

授業・演習・ディスカッションへの参加（30%）小レポートの提出（30%）最終試験（40%）

⑥学生へのメッセージ

自己の内面を探る自己探求的なプロセスを演習を通して学びますので、自分と向き合う意思があり、心身が安定していることが必要です。自分と向き合う作業は、楽しいことばかりではありません。時期を選んで受講してください。

⑦追試験

対象科目

特記事項 登録時に「表現アートセラピー1」を修得済であること。

応用表現アートセラピー（集中スクーリング）

担当教員：檜森 秀子

2年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2026年度

概要

アート表現を教育に用いるメソッドであるアーツ・インテグレーションの理論と実際を学ぶ。アーツ・インテグレーションの例としては、ダンス表現を使って数学を学ぶ、詩作から社会科を学ぶ、ドラマ表現を使って理科を学ぶなどである。教科の学習にアート表現を取り入れることで、生徒の好奇心を刺激し、学習効果上がる。新しい学力観や知能の考え方も学ぶことで多様な学習スタイルを持つ子どもに対応し、発達障がいなど、障がいをもつ子どもの学習支援にもなる。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

児童 DP1, 児童 DP2

到達目標

- ①アーツ・インテグレーションの理論と実際を理解する
- ②アート表現を用いての学習促進を理解する
- ③アーツ・インテグレーションを用いた授業プランを分析する

授業計画

- | | |
|---------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 1. アーツ・インテグレーションとは何か | 10. 自由で安全な場をどう作るか |
| 2. マルチプル・インテリジェンス（多元知能）理論 | 11. 授業分析演習：グループ |
| 3. カナダやアメリカでのアーツ・インテグレーション教育 | 12. プレゼンテーション |
| 4. モデル授業：国語（第1日） | 13. ディスカッション |
| 5. カナダの実例（実際の授業風景DVDを見る） | 14. 振り返り |
| 6. 様々なモダリティの使い方（ビジュアルアート、ダンス・ムーブメント、音楽、ドラマ、ストーリーテリングなど） | 15. まとめ（第3日） |
| 7. モデル授業：算数 | （内容・演習が前後・変更する場合があります） |
| 8. 認知特性を生かした学び | 3日とも授業後、その日に学んだこと、質問などを書いてもらいます。 |
| 9. 授業分析演習：個人（第2日） | 最終日は、試験を行います。資料・ノート等見ること可。 |

受講にあたって

①**準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間** 「表現アートセラピー基礎」「表現アートセラピー1」のどちらかを既に履修済であること。「表現アートセラピー基礎」を未受講の人は、『表現アートセラピー入門』を、「表現アートセラピー1」を未受講の人は、『癒しと成長の表現アートセラピー』を読んでおくこと。15時間程度。

『アート表現で成績を上げ人生を成功させる方法 アーツ・インテグレーション』小野京子・檜森秀子著 Kindle 出版を
読んでおくこと

②**使用教科書** なし③**参考書** 『MI:個性を生かす多重知能の理論』ハワード・ガードナー著 新曜社 2001年

④**準備するもの** 16色程度のクレヨンかクレパス、金か銀のボールペン、F4サイズのスケッチブック、黒が入っている色画用紙セット、折り紙、糸（数色、一握り程度）、のり、はさみ、セロテープ、新聞紙、綿棒や割り箸数本、コンパス、定規、（ほとんど百円ショップにあります）、

⑤**成績評価** 出席・授業と演習への参加態度（40%）最終試験（40%）プレゼンテーション（20%）

⑥**学生へのメッセージ** 今まで教育に関わりのない方、教科を教えたことがない方も受講できます。自分の創造性も高められます。身近にいる子ども、塾や教育現場等で指導できるように意識を高くもって学んでください。

⑦**追試験** 対象科目

基礎カウンセリング1 (テキスト)

担当教員：山本 奨

1年次～ 選択1単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2026年度

概要

教師や保育士、看護師、カウンセラー、福祉職などの対人援助職には、相手を受け止め、共感的に話を聞く態度やスキルが必要である。相手に関心を向けて共感的に理解しようとする態度は、子どもと接する者にとっても大切である。「基礎カウンセリング1」では、カウンセリングの基礎となる人間観・心理学理論・基本的な技法について学び、共感的に人を受け止め傾聴するための基盤を作る。ロールプレイングなどの練習を通して体験的に傾聴を学ぶ「基礎カウンセリング2」の履修に備える。カウンセラー（公認心理師・臨床心理士）としての経験と実践を踏まえて、添削指導に当たる。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童 DP4

到達目標

- ① カウンセリングにおける3つのアプローチ（精神分析的アプローチ、認知行動療法的アプローチ、クライアント中心療法）を中心に、カウンセリングの諸理論に関する知識を深く理解しそれぞれについて端的に説明することができる。
- ② クライアント中心療法の本質を理解しその要点を端的に説明することができる。
- ③ カウンセラーに必要な態度、傾聴とはどのようなものなのかを理解しその実践の要点を端的に説明することができる。
- ④ カウンセラーの心構えと職業倫理について理解しそれを端的に説明することができる

学習の進め方

まずテキストを読み進めながら、参考書である『新・カウンセリングの話』と他の参考書を読み、カウンセリングの諸理論やクライアント中心療法についての理解を深める。次にレポート課題に沿って内容を確認し、レポートを書く。

内容

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. カウンセリングとは何か | 6. 傾聴とはどのような態度か |
| 2. 精神分析的アプローチ | 7. カウンセリングと類似の支援との違い |
| 3. 認知行動療法的アプローチ | 8. カウンセラーの心構えと職業倫理 |
| 4. クライアント中心療法（来談者中心療法） | |
| 5. カール・ロジャーズのカウンセリング | |
| (1) 無条件の積極的関心 | |
| (2) 共感的理解 | |
| (3) 一致 | |

テキスト・参考書

①テキスト はじめてのカウンセリング入門（下）－ほんものの傾聴を学ぶ 諸富祥彦 誠信書房 2010（pp.126～179を除く）

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書

新・カウンセリングの話 平木典子 朝日新聞出版（テキストと合わせて、必ず読むこと） 2020

ロジャーズ クライアント中心療法－カウンセリングの核心を学ぶ－新版 佐治守夫・飯長喜一郎編著 有斐閣 2011

はじめてのカウンセリング入門（上）－ほんものの傾聴を学ぶ 諸富祥彦 誠信書房 2010

成績評価

①レポート

到達目標に沿って総合的に評価する。課題の理解 50%、学生自身の学習成果 30%、レポートの完成度 20%を目安とする。

②科目修了試験

語句や人名の説明問題など論述形式が中心。カウンセリングにおける 3つのアプローチの立場から、事例に対する対応の違いを問う問題が出題される回もある。基礎知識や理解力、考察力などから総合的に判断する。

その他

カウンセラーとはどのような存在なのか、相手を共感的に理解しサポートするためには、どのような心構えと態度が必要なのかを学んでください。レポート作成に際しては、『レポート課題集』のアドバイスに従ってください。

基礎カウンセリング2（夏期スクーリング）

担当教員：山本 奨

2年次～ 選択1単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2026年度

概要

教師や保育士、看護師、カウンセラー、福祉職などの対人援助職には、相手を受け止め、共感的に話を聞く態度やスキルが必要である。相手に関心を向けて共感的に理解しようとする態度は、子どもと接する者にとっても大切である。「基礎カウンセリング2」では、「基礎カウンセリング1」において学んだ知識をもとにして、リスニング練習やロールプレイングを行うことにより、傾聴を主としたカウンセリング技術の習得を目指す。カウンセラー（公認心理師・臨床心理士）としての経験と実践を踏まえた授業を行う。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【遠隔】【同時双方向型（manaba、Zoom利用）】

学位授与方針との関係

児童DP4

到達目標

- ① クライアント中心療法の考え方に沿って傾聴技術の在り方を理解すると共にそのトレーニングの要点を獲得する。
- ② 精神分析的アプローチ・認知行動療法的アプローチの考え方と傾聴技術との関係を理解しそれを端的に説明することができる。
- ③ カウンセリングの目的を理解しそれを端的に説明することができる。

授業計画

この授業は、Zoomによる遠隔双方向で行います。

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1. 基礎カウンセリング1で学んだ「傾聴」の実際 | 5. 小さな演習と理論の理解 |
| 2. 開かれた質問の実際 | 6. 理解の枠組み（ストレスモデルと認知行動療法モデル） |
| 3. ロジャーズの必要十分条件 | 7. 終結とカウンセリングの目的 |
| 4. カウンセリングの実際 | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

使用教科書：『はじめてのカウンセリング入門 下』（諸富祥彦 誠信書房 2010）、参考書：『新・カウンセリングの話』（平木典子 朝日新聞出版 2020）、『ロジャーズ クライアント中心療法 ―カウンセリングの核心を学ぶ―新版』（佐治守夫・飯長喜一郎編著 有斐閣 2011）を読み理解しておくこと。準備学修として合計15時間程度。

②使用教科書 『はじめてのカウンセリング入門 下』 諸富祥彦 誠信書房 2010

③参考書

『はじめてのカウンセリング入門 上』 諸富祥彦 誠信書房 2010

『ロジャーズ クライアント中心療法 ―カウンセリングの核心を学ぶ―新版』 佐治守夫・飯長喜一郎編著 有斐閣 2011

『新・カウンセリングの話』 平木典子 朝日新聞出版 2020

④持参するもの manaba で配布する資料を手もとに置いて受講すること

⑤成績評価 授業の中で課す複数回の小レポート（60％）と全ての授業後に提出する最終レポート（40％）による。

⑥学生へのメッセージ

「基礎カウンセリング1」を修得済であることが履修条件です。

履修者がカウンセラー役となって応答を経験する演習を行います。遠隔授業の利点を活かし、周囲の評価を気にすることなく、各自声を出しながら体験してください。

⑦追試験 対象科目

分析的アートセラピー(描画) (集中スクーリング)

担当教員：倉石 聡子

2年次～ 選択1単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目/2026年度

概要

対人支援の基礎となる臨床心理学の知識と、臨床場面でアートを用いる上で必要な臨床アートセラピーの理論に触れる。科目名は「分析的アートセラピー」であるが、描画査定や描画分析のように作品を一時的に分析・解釈する手法を学ぶのではなく、作品や創作プロセスから何を読み取り、読み取ったことをどのように支援に生かすのか、基本的な考え方と関わり方を学ぶ。

絵を描く過程で画材が刺激となり感情や無意識が動き、それらを紙の上に表現したり、作品を見返したりすることで、感情発散や自己探索の深まりが期待できる。講義で学んだ理論を、演習を通して体験的に感じ取ることに加え、グループディスカッションを通し言語的に振り返る。言語と非言語、理論と体験の両側面から、ケアにおけるアートの役割を学ぶ授業である。

(「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目)

授業の方法

【同時双方向型(manaba、Zoom利用)】

学位授与方針との関係

大学D P2 児童D P1

到達目標

- ① アートを対人援助に生かすための基本態度や理論を理解する
- ② 学んだことを実際の場面に照らし合わせることができる
- ③ 演習により自らの感情や思考の変化などを振り返ることができる

授業計画

授業ガイダンス	【第1日目 Zoom】
1. アートセラピーの歴史と現状	【第1日目 Zoom】
2. アートによるアセスメント	【第1日目 Zoom】
3. 子ども心を知る手がかりとしてのアート	【第1日目 Zoom と manaba の併用】
4. 描画における画材とテーマ	【第2日目 Zoom と manaba の併用】
5. 子どものアートセラピーの事例	【第2日目 Zoom】
6. グループワークの多様な形式	【第2日目 Zoom】
7. グループワークの事例	【第2日目 Zoom】
8. グループワークのプランニング	【第2日目 Zoom と manaba の併用】

重要：manaba は常時使用します。ガイダンスは必ず出席してください。

講義資料PDFはすべてmanabaから配信します。感想、レポート、アンケート提出はすべてmanabaから行います。

受講にあたって

①**準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間**；本講義では理論と実践を往還しながら検討を行うため、事前にアートセラピーの歴史的背景、主要な理論的立場、ならびに国際的な動向について、ウェブ資料や学術論文を用いて基礎的事項を調べておくこと。また、自身が扱ったことのある、あるいは身近にある画材の一つ以上取り上げ、その素材の特徴と心理的作用について簡単に整理し、自分なりの仮説を立てておくこと。準備学習時間は各日 60 分程度(合計 120 分)を目安とする。

②**使用教科書**：なし

③**参考書**「子どものアートセラピー実践ガイド:発達理論と事例を通して読み解く」アネット・ショア、金剛出版、2018年。「アートセラピー実践ガイド:クライアントに合わせた素材の選択から活用まで」リサ・ハインツ、誠信書房、2023年。

④**準備するもの**：2B鉛筆、消しゴム、色鉛筆12色以上、カラーマーカー12色以上、クレヨン12色以上、B4または八つ切りのスケッチブック(簡単に切り離せるもの)。

⑤**成績評価**：出席状況、ディスカッションと演習への意欲的な参加、レポートにより評価する。試験は行わない。

⑥**学生へのメッセージ(重要)**

★manabaにコース登録後は、「コースニュース」をこまめに確認してください。事前の重要連絡をいたします。

★各自wifi環境の整備、@SSのシステム利用の手引きからマニュアルをよく読んで、manabaの習熟をお願いします。

★授業時間内にすべて(講義、質問、ブレイクアウトセッション、レポート送信まで)を完結します、リフレクションペーパーのみ授業終了後に締め切りを設定します。必ず期限を守って提出してください。

⑦**追試験** 対象外科目

特記事項

登録時に「表現アートセラピー1」を修得済であること。

発達臨床支援（後期土曜スクーリング）

担当教員：安藤 朗子

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2026年度

概要

現在は、少子化や核家族化の進展、共働き家庭の増加、地域とのつながりの希薄化、急激な情報化などを背景とし、子どもの育ちや子育てにはさまざまな課題が見られ、しかも多くの課題が関係し合い複雑化している。子どもの発達や学びの過程、生涯発達、多様な育ちについて学ぶとともに、現在の社会状況における保育や子育てにおける実際的な支援内容や方法について包括的に学ぶ。

授業の方法

【遠隔】【同時双方向型（Zoom、manaba利用）】

土曜スクーリングにおいて遠隔授業（同時双方向 zoom と manaba 利用）を行う。

教科書を使用する。学習内容によって、可能であれば zoom を利用しグループ・ワークを取り入れたいと考えている。

学位授与方針との関係

児童DP1 児童DP2 児童DP3

到達目標

- ①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。
- ②家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。
- ③子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。
- ④子どもの精神保健とその課題について理解する。

授業計画

1. 胎児期・新生児期
2. 乳児期
3. 幼児期・学童期前期 (第1日：B (zoom) 及びA (manaba))
4. 学童期後期 (思春期)
5. 青年期
6. 成人期・老年期 (第2日：A (manaba) 及びB (zoom))
7. 家族および家庭の意義と機能
8. 子育てを取り巻く社会の状況 (1) 1節
9. 子育てを取り巻く社会の状況 (2) 2節・3節 (第3日：A (manaba) 及びB (zoom))
10. 支援を必要とするさまざまな家庭
11. 特別な配慮を要する家庭への支援 (1) 1節～3節
12. 特別な配慮を要する家庭への支援 (2) 4節・5節 (第4日：A (manaba) 及びB (zoom))
13. 障害のある子どもと保護者への支援
14. 子どもの精神保健とその課題 (第5日：A (manaba) 及びB (zoom))
15. 全体の振り返りおよびまとめ (第6日：B (zoom) 及びA (manaba))

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

教科書の該当箇所を予習し、授業の後には復習をしてください。1回の授業につき最低1時間。

②使用教科書

子ども家庭支援の心理学 改訂2版 安藤朗子・吉澤一弥編著 アイ・ケイコーポレーション 2024

※2024年発行の改訂版を準備してください。

③参考書

教科書の各章末に記載してある引用文献・参考文献を参照。

④持参するもの

教科書・筆記用具

⑤成績評価

授業中のミニレポート、最終試験 (manaba 利用予定)、授業参加度により総合的に行う。評価の比率は、小レポートと最終試験を 80%、授業参加度を 20%とする。

⑥学生へのメッセージ

積極的な学習への取り組み、授業への参加を期待しています。事前に必ず教科書に目を通してきてください。

⑦追試験

対象科目

幼児教育方法論（テキスト）

担当教員：請川 滋大

2年次～ 必修2単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2026年度

概要

この科目では、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、幼児教育についての考え方、幼児教育の教育方法及び技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。学習の軸は下記の3つとし、これらに基づいて具体的な授業を進めていく。

- (1) これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な幼児教育とその教育方法を理解する。
- (2) 幼児教育の目的に適した指導技術を理解する。
- (3) 情報機器を活用した効果的な教育実践や幼児理解の方法について理解する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 児童DP3

到達目標

- ① これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解している。
- ② 幼児教育の目的に適した指導技術を理解している。
- ③ 情報機器を活用した効果的な教育実践や幼児理解の方法を理解している。

学習の進め方

「学習の手引」にしっかりと目を通した上で、テキストを用いた学習を進めて欲しい。適宜、参考書など他の文献も活用するとよい。

内容

1. 幼児教育を学ぶという事の意味
2. 幼児教育をめぐる動向
3. 子どもをとりまく生活環境の変化とその課題
4. 幼児教育の思想・制度とその歴史的変遷ー現代とは何が異なるかー
5. 子どもの遊びと教育的意義ー遊びと学び、遊びの質をどう支えるかー
6. 諸外国の取り組みから新時代の幼児教育を考えるー諸外国の取り組みを日本の幼児教育にどう生かせるかー
7. 「環境を通して行う教育」の理論と方法
8. 総合的な教育活動の展開と計画ー「遊びを通しての総合的な指導」をどう実践するかー
9. 幼児教育の質の向上ー組織的・計画的な取り組み①ー保育の形態と保育方法の工夫ー
10. 幼児教育の質の向上ー組織的・計画的な取り組み②ー幼児教育を支える実施・運営の質ー
11. 幼児教育における子ども理解と記録・評価・計画ー情報機器の活用ー
12. 保護者・地域との連携・協働ー「社会に開かれた教育課程」の実践ー
13. 就学前施設と小学校との接続①ー遊びから「主体的・対話的で深い学び」へー
14. 就学前施設と小学校との接続②ー接続期の幼児教育、要録記載のポイントー
15. 現代の幼児教育の課題ー保育者の専門性ー

テキスト・参考書

- ①テキスト ①幼児教育の原理 請川滋大(編) 萌文書林 2025
②幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館 2018、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 保育におけるドキュメンテーションの活用 請川滋大ほか編著 ななみ書房 2016
子ども理解 請川滋大 萌文書林 2020

成績評価

- ①レポート 課題の理解40%、自己学習の成果40%、レポートの体裁20%
②科目修了試験 論述形式。論理的思考力40%、基礎知識30%、記述力30%

その他

「学習の手引」を有効に活用することを常に念頭に置いてもらいたい。

「発達教育論」の科目名変更： 「発達教育論」履修済みの者は履修不可

保育・教育課程論（テキスト）

担当教員：請川 滋大

2年次～ 必修2単位

テキスト科目／2026年度

概要

幼児期の保育・教育は、子どもを人間として尊重しその最善の利益を守り、よりよい成長・発達を助長する営みである。これらの目的を実現するため、保育者は日々さまざまな方法を考え工夫しながら子どもと関わっていかねばならない。

以上のような問題意識から、本科目では保育所保育指針（以下、指針）や幼稚園教育要領（以下、要領）を基準として各園において編成される保育・教育課程について、その意義や編成の方法を理解すると共に、各園の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義及び理解を目的とする。また、幼児期を中心に園生活の代表的な保育・教育の内容や活動を例にとり、その援助並びに指導の原理や展開について学んでいく。

(1) 保育・教育課程の意義及び編成の方法について学ぶ。：保育所や幼稚園における保育計画・教育課程はどのような意義を持つのか。それらの編成はどのような法的根拠に基づいて行われているのか。幼稚園教育要領や保育所保育指針を参照しながら学習していく。

(2) 保育・教育課程の指導方法について学ぶ。：これまで保育施設においては教育課程をしっかりと組んだ方法から、より子どもの自発性を尊重した計画までその幅は広がった。教育課程はどのように達成されていくのが望ましいのか。また教育課程を用いることでどのような効果が期待されるのか。保育施設での実践を想定しながら学んでいく。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2 児童DP3

到達目標

- ①就学前教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解している。
- ②保育・教育課程編成の基本原理及び幼稚園等の教育実践に即した保育・教育課程編成の方法を理解している。
- ③領域・学年をまたいで教育課程を把握し、幼稚園等の教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解している。

学習の進め方

まずは「学習の手引」にしっかりと目を通し、その上でテキストを用いた学習を進めて欲しい。適宜、参考書など他の文献も活用するとよい。その他の文献も適宜用いる。

内容

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 1. カリキュラム（教育課程）の基礎理論 | 9. 指導計画の作成 |
| 2. 保育課程・教育課程の意義 | 10. 指導計画の実際 |
| 3. 保育・教育課程の変遷 | 11. 保育記録・保育評価 |
| 4. 保育・教育課程の編成 | 12. 保育所及び幼稚園の自己評価 |
| 5. 指導計画の基礎 | 13. 幼保小の連携 |
| 6. 子どもの育ち・年齢別発達のポイント | 14. 幼稚園幼児指導要録・保育所児童保育要録・認定こども園こども要録 |
| 7. 保育課程と保育 | |
| 8. 教育課程と保育（実際の事例） | 15. 各園の特徴を生かしたカリキュラムマネジメント |

テキスト・参考書

①テキスト 保育・教育カリキュラム論 佐藤康富(編著) 大学図書出版 2020、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーバル館 2018

成績評価

- ①レポート 課題の理解 40%、自己学習の成果 40%、レポートの体裁 20%
- ②科目修了試験 論述形式。論理的思考力 40%、基礎知識 30%、記述力 30%

その他

「学習の手引」を有効に活用することを常に念頭に置いてもらいたい。

「保育課程論」の科目名変更： 「保育課程論」履修済みの者は履修不可

保育内容総論（夏期スクーリング）

担当教員：羽路 久子

3年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2026年度

概要

幼稚園における保育内容は、子どもの園生活の全てを含むものであることを理解し、どのような仕組みで子ども達の発達を支えているのかを学ぶ。具体的には、実践事例やDVD等を通して、子ども理解を深め、幼児の自発的活動としての主体的に行われる遊び、保育者の援助、環境構成、指導計画のあり方などについて、理解していく。

授業の方法

【面接】

6日間とも対面での授業を行い、講義と共に学生同士等の話し合いや子どもの姿の事例、DVDをみながら理解を深める。

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ①幼稚園における保育内容に対する正しい理解を行う。
- ②幼児期における遊びや生活の重要性を理解し、主体的、対話的で深い学びについて考える。
- ③保育者の専門性について学ぶ。

授業計画

1日目	4日目
1. 幼稚園教育の基本	7. 子ども理解と記録の仕方
2. 保育内容の捉え方	8. 指導計画の作成の理解
2日目	9. 指導案の作成方法の理解
3. 遊びや生活から捉えられる保育内容	5日目
4. 発達から捉えられる保育内容	10. 様々な配慮を必要とする子どもの園生活と保育内容
3日目	11. 幼稚園と家庭との連携
5. 保育内容 5領域の捉え方	12. 幼稚園と小学校との接続（10の姿）
「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」	6日目
6. 主体的・対話的で深い学びについて	13. 保育者の専門性
	14. 社会の変化と今日的課題
	15. 幼稚園施設見学（附属豊明幼稚園）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

自分の子ども時代を思い出すことや、心が動き、自分で何かを意欲的にした時はどういった時かを再考する。それに基づき幼児期における「主体的・対話的で深い学び」についても考える。必要な時間は定めず、レポート提出もなし。

②使用教科書 ①幼稚園教育要領解説 文部科学省 平成30年3月 フレーベル館

③参考書 授業の中で適宜紹介する

④準備するもの 教科書、筆記用具 6日目（室内履き準備・平らな靴を履いてくること）

⑤成績評価 授業参加・発表等50% レポート・50%で評価をする。レポートとは、何回かの提示された課題、最終日の課題で評価を行い、筆記試験は行わない。

⑥学生へのメッセージ 共に考え、対話をしながら、保育の楽しさを伝えられる授業にしていきたい。

⑦追試験 対象外科目

乳幼児教育論（テキスト）

担当教員：本江 理子

2年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2026年度

概要

乳幼児の教育・保育について、幼児教育・保育の概念、乳幼児の育ちの現状、3法令（幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領）について、乳幼児の生活環境、幼保小の連携、保育者の資質向上、子育て支援、多様な保育の展開など、幅広い視野から学ぶことを目的とする。（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ①乳幼児教育・保育の理念、社会的課題、法令の基本を理解し、養護と教育が一体的に展開する保育の意義を説明できる。
- ②子どもの主体性を尊重し、遊びや生活を通じた学びを支える環境づくり、家庭・地域との連携、子育て支援、多様なニーズや小学校への接続をふまえた保育を構想できる。

学習の進め方

1. テキストの「目次」に着目しながら内容を概観し、全体像をつかむ。
2. 「レポート課題」に示されている「参考書」や関連文献などを読み進めながら、文章の書き方、引用の方法なども含めて学ぶ。
3. レポートの作成を行う際は、必ず複数の関連文献を読み、引用部分を「」でくくって明記しながら、根拠を示す。
4. 科目修了試験に向けて、テキストを今一度通読して内容を熟読し、さらに関連文献を読み進める。 ※レポート不合格の場合は、添削されている注意点に関して丁寧に見直しをし、改善する。

内容

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| 1. 保育内容の歴史的変遷と社会的背景
ー現代の諸問題もふまえてー | 8. 地域や家庭との連携 |
| 2. 3法令改訂・改定のポイント | 9. 環境を通して行う保育 |
| 3. 園生活をイメージする | 10. 主体的な遊びを支える環境 |
| 4. 遊びや生活を通して学ぶということ | 11. 個と集団の育ちを支える保育 |
| 5. 養護と教育が一体的に展開する保育 | 12. 子どもを見るまなざし |
| 6. 子どもの主体性を尊重する保育 | 13. 多文化共生の保育 |
| 7. 子育て支援を考える | 14. 特別な配慮を要する子どもの保育 |
| | 15. 小学校への接続をふまえた保育 |

テキスト・参考書

- ①テキスト 新しい保育講座④ 保育内容総論 渡邊英則・大豆生田啓友編著 ミネルヴァ書房 2020

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書
- ①幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館 2018
 - ②保育所保育指針解説 厚生労働省 フレーベル館 2018
 - ③幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館 2018
 - ④日本の保育アップデート！子どもが中心の「共主体」の保育へ 監／大豆生田啓友 著／おおえだけいこ 小学館 2023

成績評価

- ①レポート レポートの全体を100%として、課題の理解25%、「ねらい」「アドバイス」の活用20%、学生自身の学習の成果40%、レポートとしての完成度15%として評価する。
- ②科目修了試験 論述形式の出題とし、知識40% 理解30% 論理的思考力20% 記述力10%の割合で評価する。

その他

- ・「子ども」に関するあらゆる情報を敏感にキャッチし、楽しんで学習を進めてください。
- ・平成29年告示の3法令（指針や要領）改訂・改定に関しても、理解を深めておいてください。

子どもとマルチメディア（集中スクーリング）

担当教員：甲斐 聖子

3年次～ 選択2単位 【認定絵本士】

スクーリング科目／2026年度

概要

この授業では、児童文化財の中でもアニメーションを中心に学んでいきます。国内外のさまざまなアニメーションに触れ、その豊かな世界を味わうとともに、絵本や漫画といった他のメディアとの関連性について考えます。

この授業は、認定絵本士資格に関わる科目のひとつになっています。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ① 鑑賞・製作のプロセスを通して、アニメーションというメディアが分かるようになる。
- ② 様々なメディアそれぞれの特性を理解できる。
- ③ 子どもをめぐる映像文化の状況を多様な角度から考察することができる。

授業計画

- | | |
|--------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. イントロダクション 授業計画詳細の説明 | 7. 作家の感性に触れる【⑳絵本が生まれる現場：作家】 |
| 2. オリエンテーション 【①オリエンテーション】 | 8. 絵本の編集【㉑絵本が生まれる現場：編集者】 |
| 3. 子どもとアニメーション【㉒子供の心をとらえるもの（子供の心をとらえて離さないもの）】 | 9. アニメーションとは何か①（アニメーションのしくみを知る） |
| 4. ワークショップの企画を立てよう【⑬絵本の世界を広げる技術②（ワークショップ）】 | 10. アニメーションとは何か②（視覚玩具製作） |
| 5. インタラクティブメディアとしての絵本・アニメーション【⑥絵本各論④（メディアとしての絵本の位置づけ）】 | 11. 鑑賞①平面アニメーション |
| 6. 絵本の広がり【㉓絵本の持つ力】 | 12. 鑑賞②半立体・立体アニメーション |
| | 13. タブレット端末を使つてのアニメーション製作①（計画・構成） |
| | 14. タブレット端末を使つてのアニメーション製作②（製作・編集） |
| | 15. アニメーション作品の発表会 |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

子どもをめぐる文化における様々なメディアの働きについて、日常的に多くの関心を寄せ、興味を持って具体的な事象を観察、考察してください。また、授業中に、次の授業までに必要な予習・復習について指示します。1回の授業につき、予習・復習あわせて1時間程度。

事前課題 特にありませんが、日頃から目に入ってくる映像に注目してみましょう。

②使用教科書 授業に必要な資料等は配付します。

③参考書 「認定絵本士養成講座テキスト」中央法規 2024年改訂版

④準備するもの スマートフォン（タブレット型端末）文房具（のり、はさみ、カラーペンなど）授業初日に案内をします。

⑤成績評価 授業参加・発表50% 製作課題・レポート50%とあわせて総合的に判断する。

⑥学生へのメッセージ

映像鑑賞・製作を通して学生同士の協同の場も積極的に設けます。授業に主体的に参加できる方の受講をお待ちしています。

⑦追試験 対象外科目

特記事項 認定絵本士指定科目。正科生のみ履修可。受講者数を50名までとする。2021年度以降入学者を優先。

音楽表現（後期土曜スクーリング）

担当教員：根津 知佳子・水谷 稚佳子・山崎 洋子

2年次～ 選択1単位

スクーリング科目／2026年度

概要

領域「表現」の指導に必要な知識を身に付けるとともに、保幼小連携を視野に入れた表現活動を指導・支援することのできる技能を身に付ける。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（manaba, Zoom利用）】

初回授業時に、ピアノ課題曲（2曲）および声楽（弾き歌い）課題6曲の予習準備状況を初回授業で確認する（下記の受講にあたって参照のこと）。

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ①乳児期から児童期までの音楽表現を支えるための指導・支援に必要な基礎的な知識を理解することができる。
- ②乳幼児期の表現活動を支える基礎的な技能を習得することができる。

授業計画

受講初日に、事前課題全曲を確認する（Zoomによる）。6日間を通して、全体授業、ピアノおよび声楽（弾き歌い）の個人レッスン（グループ学習）、および合唱指導を行う。授業全体を通して、相互学習を重視する。

- 第1日
1. オリエンテーション
 2. 弾き歌いの基礎知識：①ハ長調・ト長調（主音・属音・下属音・導音）
 3. 弾き歌いの基礎知識：②（和音のしくみ・主要3和音と転回形）
- 第2日
4. 弾き歌いの基礎知識：③ハ長調（主音・属音・下属音・導音）
 5. 表現指導・支援の技法：①コード（ハ長調）の応用
- 第3日
6. 弾き歌いの発展：季節の歌（春夏）
 7. 表現指導・支援の技法：②コード（ト長調）の応用
- 第4日
8. 弾き歌いの発展：季節の歌（秋冬）
 9. 表現指導・支援の技法：③コード（ハ長調）の応用
 10. 音楽表現と記号：イタリア語の楽語
- 第5日
11. 弾き歌いの発展：①行事の歌
 12. 弾き歌いの発展：②前奏の工夫
 13. 実践におけるパフォーマンス評価（子どもの表現）
- 第6日
14. 実践におけるパフォーマンス評価（実践者の表現）
 15. まとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

ピアノと声楽（弾き歌い）については、次項の事前課題全8曲に基づいてレッスンをを行うことから、事前の予習が必要となる。ピアノ課題曲（1曲）および声楽（弾き歌い）課題6曲の予習準備状況を初回授業で確認する。

なお、声楽（弾き歌い）は、以下のように練習する。

- ・簡易伴奏が好ましい。
- ・曲に応じた速度で歌えるようにする。
- ・楽譜通りではなくコードネームを元に単音・和音・分散和音など、弾きやすい伴奏にアレンジする（ピアノテキスト71ページから80ページを参照のこと）。
- ・最後の4小節を前奏として弾くなど、変更してもよい。

事前課題

<ピアノ課題>

『みんなピアノだい好き！（保育者・教師をめざす人集まれ〜！）』（全音楽譜出版社）から、課題曲2曲と自由曲6曲（計8曲）を選曲し、練習する。

課題曲（1曲を選曲）： バイエル 88 番（p.12）、バイエル100 番（p.14）

自由曲（任意の1曲を選曲）： Chapter 2 クラシック（「エリーゼのために」「ノクターン」は除く）

Chapter 4 ピアノでマーチ/ピアノでダンス（「子犬のマーチ」「聖者の行進」は除く）

Chapter 5 ピアノでポップス

上記の中から選曲すること

<声楽（弾き歌い）課題>

『改訂 ポケットいっぱいのおうた 実践 子どものうた 簡単に弾ける144選』（教育芸術社）から以下のリストより計6曲選曲し、ピアノを弾きながら歌えるように準備する。ただし、ハ長調からは2曲までとする。

〈弾き歌い課題曲リスト〉

ハ長調	アイアイ	思い出のアルバム	すてきなパパ	虫の声
	アイスクリームのうた	おもちゃのチャチャチャ	せんせいとおともだち	むすんでひらいて
	赤鼻のトナカイ	かたつむり	そうだったらいいのにな	めだかの学校
	朝のうた	かもつれっしや	たきび	森のくまさん
	歌えバンバン	こいのぼり（絵本唱歌）	手をたたきましょう	夕やけこやけ
	大きなくりの木の下で	さんぽ	ともだちになるために	
	おかえりのうた	シャボン玉	とんぼのめがね	
ト長調	おべんとう	すうじのうた	はをみがきましょう	
	いるかはざんぶらこ	子どもの世界	茶つみ	にんげんっていいな
	We Wish You a Merry Christmas	幸せなら手をたたこう	どんな色がすき	ピクニック
	うみ	世界中のこどもたちが	七つの子	ふしぎなポケット
ハ長調	大きな古時計	線路は続くよどこまでも	にじ	
	ありさんのおはなし	きらきら星	ニヤニヤの天気予報	やぎさんゆうびん
	あわてんぼうのサンタクロース	サッチャン	バスごっこ	山の音楽家
	一年生になったら	すいかの名産地	Happy Birthday to You	ゆりかごの歌
	お正月	ぞうさん	Believe	雪
	おばけなんてないさ	たなばたさま	まっかな秋	
	おはながわらった	楽しいね	まつぼっくり	
ニ長調	きのこ	手のひらを太陽に	南の島のハメハメハ大王	
	あくしゅでこんにちは	犬のおまわりさん	とけいのうた	豆まき
	あめふりくまのこ	おつかいありさん	ホ！ホ！ホ！	

②使用教科書

『幼稚園教育要領』平成29年3月、文部科学省

『みんなピアノだい好き！（保育者・教師をめざす人集まれ〜！）』坪能由紀子ほか、全音楽譜出版社 2016 年

『改訂 ポケットいっぱいのおうた 実践 子どものうた 簡単に弾ける144選』鈴木恵津子・富田英也 教育芸術社 2011 年初版

③参考書『シング・ウォーク・ダンス』坪能由紀子・野本由紀夫ほか、音楽之友社 2004 年初版

④持参するもの 上記教科書3冊、五線紙

⑤成績評価 事前課題準備 40% クラス授業・レッスンでの取り組みと演奏 40% パフォーマンス評価 20%

⑥学生へのメッセージ

受講生の人数、進度などの状況により、授業内容を変更する場合があります。

事前課題、初回の演奏発表等について理解した上で受講してください。

⑦追試験

対象外科目

特記事項 土曜スクーリングは原則として受講者数を20名までとする。

登録時に「子どもと表現」を修得済であること。

子どもと表現 (集中スクーリング)

担当教員：根津 知佳子

2年次～ 選択1単位

スクーリング科目／2026年度

概要

領域「表現」に関する発達段階や表現行為の様相などを理解するために必要な専門的事項の知識を身に付けるとともに、保幼小連携を視野に入れた表現活動の意義について学ぶ。特に、養育・保育・教育・療育などにおける具体的な活動を視野に入れ、音楽表現の多様性について学ぶ。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業 (manaba, Zoom 利用)】

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ①乳児期から児童期までの発達様相をふまえ、音楽表現行為の特性を理解するための理論を理解することができる。
- ②乳幼児期の表現活動を支える基礎的な知識・技能を理解することができる。

授業計画

【第1日目】

1. 楽譜に内在する多様な情報：楽譜の基礎知識
2. 音楽表現における sound & silence (音価のシステム) / リズムと拍子
3. 子どもの音域の発達：音名と階名 / 音程感覚 (完全音程 / 長短音程 / 増音程と減音程)

【第2日目】

4. 子どもの声域の理解：長音階の構造 / 短音階の構造
5. 弾き歌いの基礎：和音・コードネーム / 和音の転回形

【第3日目】

6. 弾き歌いの応用：移調・転調・記号
7. 弾き歌いの応用：楽曲分析
8. まとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前に、使用教科書『みんなピアノだい好き！ (保育者・教師をめざす人集まれ～！)』のCHAPTER 1 はじめてのピアノ (6～7 ページ、16～17 ページ) と CHAPTER 8 楽典のまとめ (154～158 ページ) を読んでおくこと。

特に、音名、音程、音階、和音とコードは熟読し、十分に理解しておくこと。受講生の音楽経験によって異なるが、初学者は、最低30時間を要する。

②使用教科書

『みんなピアノだい好き！ (保育者・教師をめざす人集まれ～！)』 坪能由紀子ほか 全音楽譜出版社 2016年
『改訂 ポケットいっぱいのおうた』鈴木恵津子・富田英也 教育芸術社 2011年初版
『幼稚園教育要領 (平成29年3月、文部科学省)』
『小学校学習指導要領解説 音楽編 (平成29年7月、文部科学省)』

③参考書

『シング・ウォーク・ダンス』坪能由紀子・野本由紀夫ほか編 音楽之友社 2004年初版
『楽典 理論と実習』石桁真礼生ほか 音楽之友社 1998年

④持参するもの

教科書、五線ノート (自分の書きやすい幅の五線紙を用意すること)

⑤成績評価

毎回の授業の省察 (75%) と弾き歌いなどのパフォーマンス評価 (25%) により総合的に評価する。

⑥学生へのメッセージ

授業内容については、それぞれの授業の進度によって変更する場合があります。

授業時に鍵盤楽器は不要ですが、パフォーマンス課題の提出がありますので、弾き歌いを録画できる環境が必要になります。

なお、弾き歌いを録画する際は鍵盤楽器が必須です。

⑦追試験 対象外科目

身体クリエイティブ表現（夏期スクーリング）

担当教員：澤田 美砂子

1年次～ 選択1単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2026年度

概要

自らの身体を使って自由に表現する活動および他者と共に生み出す身体表現活動を通して、ありのままの自分を受け入れ他者に寄り添うコミュニケーションの在り方について学ぶ。

授業の方法

【面接】実技を主とし、グループワークを行うこともある。

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ①特定の型や固定観念にとらわれず、自由な発想で自らの身体を使って表現することを目指す。
- ②相手のペースやリズムを共有しながら表現することを通して、他者を感じて動くことの楽しさや難しさを理解する。

授業計画

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. イメージ通りに動ける体をつくる | 5. 共に動く（反響／応答的表現） |
| 2. ことばのイメージと表現 | 6. 動きの質の変化 |
| 3. 音のイメージと表現 | 7. 共に創る |
| 4. 共に動く（ミラーリング／同期） | 8. 共に表現する |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

本授業では、過度に激しい運動ではありませんが、全身を使った運動を行いますので、スクーリング期間前から期間中も含め、1日30分程度は自宅でストレッチや軽運動を行うなど、健康管理を十分に行って授業に臨むようにしてください。

②使用教科書 特になし。必要に応じて資料を配付します。

③参考書 指定なし

④準備するもの 運動着、体育館シューズ、タオル、飲み物

⑤成績評価 授業に取り組む姿勢（60%）および目標達成度（40%）について、総合的に評価する。

⑥学生へのメッセージ 子どもと関わるうえで、柔軟な思考や対応は不可欠です。まずは自身の心と体を解放し、自由な発想力や想像力を高めていきましょう。

⑦追試験 対象外科目

特記事項 受講者数を40名までとする。

音楽療法的アプローチ（集中スクーリング）

担当教員：根津 知佳子・大竹 孔三

1年次～ 選択1単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2026年度

概要

音楽に内在する3つの治療的機能（生理的作用・心理的作用・社会的作用）と音楽療法的な活動の構造を理解する。

授業の方法

【遠隔】同時双方向型（Zoom）

学位授与方針との関係

児童 DP1, 児童 DP2, 児童 DP3

到達目標

- ①音楽に内在する3つの治療的機能を理解する
- ②音楽療法的な活動の構造を理解する
- ③具体的な活動を展開するための技法を理解する

授業計画

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. オリエンテーション／音楽療法の歴史 | 5. 音楽療法的アプローチの構造 |
| 2. 音楽に内在する治療的機能①生理的作用 | 6. 音楽療法的アプローチの応用①個別セッション |
| 3. 音楽に内在する治療的機能②心理的作用 | 7. 音楽療法的アプローチの応用②グループ活動 |
| 4. 音楽に内在する治療的機能③社会的作用 | 8. 音楽療法的アプローチの課題と展望 |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

レポート課題①として「音楽的経験に関するライフストーリー」を作成する。また、レポート課題②として、音楽実技の模擬的な活動案を作成する。いずれも、Zoom や manaba を用いた意見交流を行う。課題作成にはそれぞれ5時間以上を要する。

②使用教科書 毎回資料を提示する。

③参考書 初回の授業で提示する。

④準備するもの 特になし

⑤成績評価 毎回の授業におけるグループ活動や省察（60%）と、課題への取り組み（40%）で総合的に評価する

⑥学生へのメッセージ 提示された情報・資料をもとに、自分なりに課題意識をもって取り組んでください。

⑦追試験 対象外科目

特記事項 音楽に関する技能は問いませんが、受講生が多い場合は、「子どもと表現（旧音楽理論）」あるいは「音楽表現（旧音楽実技）」を履修済・履修中の受講生を優先します。
また、受講者数を40名までとします。

小児保健学1 (テキスト)

担当教員：平田 倫生

1年次～ 必修2単位

テキスト科目／2026年度

概要

ライフサイクルの前半、つまり胎生期から思春期までの各年令での身体発育や生理機能、運動機能、精神などの発達の基礎的事項を学習する。数ある動物の中でも、人間は、自立するまでに、親、家族、保育者、教育者など周囲の環境に依存する期間が最も長い。したがって、個としての発育、発達には、養育する者との相互関係のあり方が必ず反映される。このような考え方や基礎知識の上になつて、小児の心身の健全な成長を図るための育児や保育の考え方、方法を習得する。また、心身の健康に及ぼす環境の影響、事故防止、安全教育、感染症に対する予防等についても学ぶ。子どもの場合、とくに心身が発達途上であることから、心と身体の両面をいつも留意する視点を養うことが最も重要となる。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

子どもの心身の正常な発達を正しく理解することで、病気や異常についての正しい知識とその対策の立案方法を習得する。

学習の進め方

1. テキストを学習する。
2. 章ごとあるいは複数の章の学習を終えたところで関連する文献を調べる。その後、レポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・関連文献に基づき学習する。
3. レポートの下書きを作成し、テキスト・関連文献との整合性等を確認した後、レポートを清書し、提出する。
4. レポート合格後、科目修了試験に向けてテキスト・関連文献によりさらに学習する。
5. 身の回りにある子どもの健康に関する情報についても、常に意識して考えてみる姿勢が非常に大事である。学習したことをもとに、身の回りの子どもについて考える習慣をつけてほしい。

内容

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 子どもの保健と母子保健 | 9. 障害がある子どもへの支援 |
| 2. 子どもの保健の諸統計 | 10. 子どもの歯の発達とケア |
| 3. 子どもの身体発育とその評価 | 11. 子どもの病気 |
| 4. 子どもの生理機能の発達 | 12. 子どもの病気の予防 |
| 5. 子どもの脳神経系の発達 | 13. 子どもと保健指導 |
| 6. 子どもの運動機能の発達 | 14. 子どもと保健安全管理 |
| 7. 子どもの感覚の発達と評価 | 15. まとめ |
| 8. 子どもの発達と評価 | |

テキスト・参考書

- ① **テキスト** 子どもの保健と安全 [第3版] 高内正子 編著 教育情報出版 2021

テキスト一覧（「履修の手引」に掲載）を必ず参照のこと。

- ② **参考書** 指定なし

成績評価

- ① **レポート** 与えられたテーマに関して、内容的的確さ、正確さ、論理性を含め、総合的に評価する。
- ② **科目修了試験** 主として使用テキストの単元を中心に出题する。基礎的な知識が身につけているか、そのうえで実際の保育や臨床の現場でどのように考えるか、その思考過程を評価する。

小児保健学2 (精神保健を含む) (夏期スクーリング)

担当教員：平田 倫生

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2026年度

概要

「小児保健学2」では、テキスト科目「小児保健学1」で学んだ基礎的な事柄を踏まえて、主として子どものこころと身体の様々な病気や問題について、養育者や保育者として知っておいてほしい事項について、さらに掘り下げた学習を進めていく。子どもの身体的な側面に加え、子どもを取り巻く社会環境やその諸問題についても知識を深めていく。講義は、座学にとどまらず、グループディスカッションやその結果の発表など、学生が参加する機会が多くある。新しいことを吸収したいという積極的な姿勢で参加してほしい。

(「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目)

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

子どものいるさまざまなフィールドで生かせる知識を身につける。

授業計画

1. 子どもとおとなの違い
2. 子どもの健康とは
3. 子どもの身体的特徴
4. 子どもの運動発達
5. 子どもの精神発達
6. 子どもの代表的な疾病 (身体面)
7. 子どもの代表的な疾病 (精神面)
8. アレルギー
9. 発達障害
10. 子どもの事故とその予防
11. 子どもの心肺蘇生
12. 子どもの予防医療
13. ワクチン
14. 虐待
15. 子どもを見守るための社会のサポート

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

参考書にあげてある「小児保健学1」テキストで予習することが望ましい。学習時間は60時間を要する。

事前課題

講義内容をよりよく理解するため、参考書で大まかに予習したうえでスクーリングにのぞむこと。

② 使用教科書 特になし

③ 参考書

子どもの保健と安全 第3版 高内正子編著 教育情報出版、2021

④ 持参(準備)するもの 特になし

⑤ 成績評価

授業内での討論、意見(30%)、課題への取り組み(30%)、レポート(40%)

⑥ 学生へのメッセージ

子どもに健康について様々な角度から考える力を身につけてほしい。

⑦ 追試験

対象外科目

小児栄養学 (テキスト)

担当教員：平田 倫生

2年次～ 必修2単位

テキスト科目／2026年度

概要

子どもが成長しおとなになっていく過程を、栄養・食事・食生活などを中心に学ぶ。親、養育者、保育者が、栄養面から見た発育を正しく評価できるようになることが目標となる。また、母乳栄養、人工栄養、離乳の心身両面からの意義などについても学習する。さらに栄養や食事に関する病態や疾患にも触れる。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

子どもの養育にかかわることも想定し、正しい知識を身につける。

学習の進め方

使用テキストを中心に学習しながら、身の回りにある子どもの栄養に関する情報についても、常に意識して考えてみる姿勢を大事にしてほしい。

内容

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 子どもの健康と食生活の意義 | 9. 食育の基本と内容 |
| 2. 栄養に関する基本的知識 | 10. 家庭における食事と栄養 |
| 3. 子どもの発育・発達 | 11. 児童福祉施設における食事と栄養 |
| 4. 胎児期の食生活 | 12. 疾病および体調不良の子どもへの対応 |
| 5. 乳児期の授乳・離乳の意義と食生活 | 13. 食物アレルギーのある子どもへの対応 |
| 6. 幼児期の心身の発達と食生活 | 14. 障害のある子どもへの対応 |
| 7. 学童期の心身の発達と食生活 | 15. まとめ |
| 8. 生涯発達と食生活 | |

テキスト・参考書

- ① **テキスト** 最新子どもの食と栄養 飯塚美和子他著 学建書院 2020、学習の手引
小児栄養学—学習の手引— 吉澤一弥著 日本女子大学通信教育課程編集、発行

テキスト一覧（「履修の手引」に掲載）を必ず参照のこと。

- ② **参考書** 指定なし

成績評価

- ① **レポート** 与えられたテーマに関して、内容的的確さ、正確さ、論理性を含め、総合的に評価する。
- ② **科目修了試験** 主として使用テキストの単元を中心に出題する。論述形式の出題とし、知識 40% 理解 30% 論理性 30% の割合で評価する。

母性保健（テキスト）

担当教員：栗谷 慶子

2年次～ 選択2単位

テキスト科目／2026年度

概要

思春期を含む妊娠前、妊娠中あるいは育児をおこなっている方に対する健康の維持と増進をはかることを目的としたものが母性保健である。したがって、講義内容としては、思春期の諸問題、排卵から月経発来メカニズム、妊娠の成立、妊娠経過、分娩―産褥などであるが、これに加え、婦人科系腫瘍に関しても、最近の医学的知識を基にして行う。とくに、妊娠の合併症に関しては現職の医師として、移り変わる最近の知見を講義する。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童 DP 2

到達目標

将来起こり得る妊娠、出産、育児にそなえて十分な知識をもち、それに対処しうる準備ができることを目標とする。

学習の進め方

1. テキストの1～6章ごとに学習を進める。
2. レポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキストに基づき学習する。
3. レポートの下書きを作成する。
4. 下書きレポートと、テキストとの整合性等を確認する。
5. 指定の用紙により提出用レポートを作成し、提出する。
6. レポート合格の場合は科目修了試験に向けてテキスト・参考文献により学習する。レポート不合格の場合は改めてテキストを学習し、参考文献に当たった上でレポートを作成し、提出する。
7. 科目修了試験に向けて学習する。
8. 科目修了試験不合格となった場合は改めて学習し、次回の科目修了試験に備える。科目修了試験終了直後に問題をどの程度解けたか確認し、難しかった箇所を改めて学習し、自分の弱点を克服することを推奨する。

内容

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 生殖器の解剖 | 9. 産褥 |
| 2. 排卵から月経のメカニズム | 10. 婦人科良性疾患 |
| 3. 月経による諸問題 | 11. 婦人科悪性疾患 |
| 4. 妊娠の成立 | 12. 婦人科感染症 |
| 5. 妊娠経過 | 13. 婦人科検査 |
| 6. 母体の合併症 | 14. 婦人科治療 |
| 7. 胎児の異常 | 15. 生殖医療 |
| 8. 分娩 | |

テキスト・参考書

①テキスト かんテキ 産婦人科 鈴木 俊治 監修 メディカ出版 2023

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 『レポート課題集』参照

成績評価

①レポート 全体を100として、課題の理解60%、学生自身の学習成果20%、レポートとしての完成度20%として評価する。

②科目修了試験 第一問 50点、第二問の一 25点、第二問の二 25点と配分し、合計点で評価する。

その他

この授業を受け、自身に起こり得る体の変化を心得て、母性保健を学んで欲しいと願っている。

子どもと造形1（夏期スクーリング）

担当教員：和田 直人

2年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2026年度

概要

この授業では実際に自ら演習を行いながら、子どもの表現活動について学びます。演習では、上手に作るのではなく、自由に作品を制作することで、造形活動の楽しさや喜びを知ることが目標とします。造形の基本となる形、色、素材といった造形要素の基礎知識を深めていきながら、子どもの表現活動に生かす術を学び、子どもの喜びに共感し一緒に胸をときめかせながら造形活動ができる感性について考察していきます。

授業の方法

【面接】 グループワークも取り入れる。

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ①形や色、材料の特徴や構成の美しさを考えながら表現したいものを自由に表現できる。
- ②材料や用具の特徴を活かして使い、表現したいことを見つけて表すことができる。
- ③絵本の視覚表現性について理解することができる。
- ④絵本を活用した表現活動について理解し、基礎的な技術を体得することができる。

授業計画

1. イントロダクション（モダンテクニックについて）
2. ドローイング（クレヨン・パス類の基礎技法）・ペインティング（水彩絵の具の基礎技法）
3. 水彩絵の具のモダンテクニック1（ドリッピング・吹き流し）
4. 水彩絵の具のモダンテクニック2（デカルコマニー・ストリング）
5. 水彩絵の具のモダンテクニック3（フロッタージュ・スタンピング）
6. クレヨンを用いたモダンテクニック（スクラッチ）
7. コラージュ（雑誌や写真を用いて）
8. さまざまな手作り絵本
9. 手作り絵本1（エリックカールの絵本作り：絵本を活用した表現活動絵）
10. 手作り絵本2（コラージュのための色紙作り：絵本の基礎的な技術の体得）
11. 手作り絵本3（絵本構想と下絵）
12. 手作り絵本4（絵本制作：視覚表現と言語表現）
13. 手作り絵本5（製本）
14. 手作り絵本6（鑑賞と講評）
15. まとめ（ICTを活用して幼児の表現についての知識と技能の整理）

受講にあたって

- ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 事前・事後学修として、毎回、最低1時間以上は課題制作の時間を設ける。
 - ②使用教科書 授業中に適宜、資料を配布します。
 - ③参考書 『手作り絵本SMILE』 和田直人 朝倉書店 2017年
 - ④持参するもの 水彩絵の具、筆、パレット、鉛筆、スティック糊、はさみ、古新聞紙（机を汚さないため）
 - ⑤成績評価 造形活動の提出物80%、レポート・感想文20%
 - ⑥学生へのメッセージ 絵の具等で汚れる場合もあります。造形活動に適した服装にしてください。
 - ⑦追試験 対象外科目
- 特記事項 受講者数を40名までとする。児童学科学生優先。

子どもと造形1 (集中スクーリング)

担当教員：前田 滋人

2年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2026年度

概要

この授業では実際に自ら演習を行いながら、子どもの表現活動について学びます。演習では、上手に作るのではなく、自由に作品を制作することで、造形活動の楽しさや喜びを知ることが目標とします。造形の基本となる形、色、素材といった造形要素の基礎知識を深めていながら、子どもの表現活動に生かす術を学びます。

授業の方法

【面接】制作中は机間巡視しながら適宜アドバイスを与えます。また、質問・疑問に対しては、授業時に口頭またはmanabaを利用してフィードバックします。

学位授与方針との関係

児童D P1

到達目標

1. 形や色、材料の特徴や構成の美しさを考えながら表現したいものを自由に表現できる。
2. 材料や用具の特徴を活かして使い、表現したいことを見つけて表すことができる。
3. 絵本の視覚・言語表現性について理解することができる。
4. 絵本を活用した表現活動について理解し、基礎的な技術を体得することができる。

授業計画

1. イントロダクション（「子供の遊び」について）
2. 見立て基礎1（見立ての基本的な概念と効果）
3. 見立て基礎2（複数の要素感の対比とイメージ）
4. 技法研究1（絵の具等の画材による素材制作）
5. 技法研究2（既存の素材を用いる手法）
6. コラージュの技法について（アート作品に見る方法）
7. 絵本課題（グループ分けとアイデア出し）
8. ストーリーボードの作成（構成とイメージ）
9. 各種技法による絵本の制作1
10. 各種技法による絵本の制作2
11. 各種技法による絵本の制作3
12. 各ページの絵柄完成
13. 手作り絵本仕上げ（製本）
14. プレゼンテーションとフィードバック
15. 講評（全体の講評と振り返り）

1. 受講にあたって

- ① **準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間** 事前・事後学修として、毎回、最低1時間以上は課題制作の時間を設ける
- ② **使用教科書** 授業中に適宜、資料を配布します。
- ③ **参考書** 『手作り絵本 SMILE』 和田直人 朝倉書店 2017年
- ④ **持参するもの** 道具類はこちらで用意するので特に必要ありませんが、古新聞紙（机を汚さないため）があるといいと思います。
- ⑤ **成績評価** 造形活動の提出物80%、レポート・感想文20%
- ⑥ **学生へのメッセージ** 絵の具等で汚れる場合もあります。造形活動に適した服装にしてください。
- ⑦ **追試験** 対象外科目

特記事項

受講者数を40名までとする。児童学科学生優先。

子どもと造形2 (テキスト)

担当教員：横井 真希子

2年次～ 選択3単位

テキスト科目／2026年度

概要

人間の表現と創造的な造形活動の意味するものは何か。こどものあそびの中に見られる造形的活動が、個々のこどもの成長発達に、どのような意味をもつものであるかを明らかにする。小学校教諭としての実践を添削指導に活かしたい。

(「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目)

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

こどもにとって望ましい「作る活動」の内容や創造活動の質の高まりを刺激する支援のあり方について理解を深め、その指導力を養う。

学習の進め方

1. テキスト、特に『ベーシック造形技法』の章ごとに学習を進める。
2. リポート課題を確認する。
3. リポートの下書きを作成し、テキスト・参考文献等との整合性を確認する。
4. 提出用リポートを作成、提出する。
5. リポート合格の場合は科目修了試験に向けて学習する。リポート不合格の場合は改めて学習し、リポートを作成・提出する。
6. 科目修了試験に合格する。不合格の場合は改めて学習し、再度科目修了試験を受験する。
科目修了試験に向けて①テキストをよく読み、子どもの造形活動の様々な場面を想定して理解を深める。②造形の基礎的な用語、素材、技術等を広く学習する。

内容

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 人間と造形 | 8. 芸術作品の鑑賞(1) 芸術体験としての鑑賞 |
| 2. 造形表現の分類 | 9. 芸術作品の鑑賞(2) 美術館の活用 |
| 3. 絵画・彫刻の基礎技法(1) 絵画の主題、材料と技法 | 10. 生活と造形 |
| 4. 絵画・彫刻の基礎技法(2) 版画の特性、材料と技法 | 11. 授業形態 |
| 5. 絵画・彫刻の基礎技法(3) 彫刻の主題、材料と技法 | 12. 作品の評価 |
| 6. デザイン・工芸の基礎技法(1) デザインの主題、材料と技法 | 13. 空間美術 (インスタレーション) |
| 7. デザイン・工芸の基礎技法(2) 工芸の材料と技法 | 14. 造形あそびとは |
| | 15. 日本の美術教育の変遷 |

テキスト・参考書

- ①テキスト ベーシック造形技法 宮脇理 監修 建帛社 2006、学習の手引
幼稚園教育要領解説 文部科学省
小学校学習指導要領解説図工編

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

- ②参考書 『リポート課題集』内の「子どもと造形2」を参照のこと

成績評価

- ①リポート 課題の理解40%、学生自身の学習成果30%、資料の活用・完成度等30%
②科目修了試験 理解40%、基礎知識30%、考察力・発展性等30%

その他

ご自分のこども時代を思い出したり、身近にいるこどものあそびや造形活動の様子などを実際に見て関連付けを行うと、テキストの内容への理解がより深まるでしょう。

子どもと造形3 (集中スクーリング)

担当教員：横井 修

3年次～ 選択2単位 【芸術・子ども支援】

スクーリング科目／2026年度

概要

身近な素材を用いた制作を通じて造形芸術の魅力に触れ、素材や道具の扱いを学ぶ。作品が生み出される背景にあるモチーフ(きっかけ)と、その過程で制作上必要となるメソッド(方法・素材)の関係を探り、実制作する。

授業の方法

【面接】

スライドレクチャー、開架式書籍資料をもとにした個人制作および、グループ制作。

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

保育者や教育者自身が造形表現について深く知ることで、初めてこどもに表現する楽しみを伝えることができる。そのためには造形作品がどのような過程を経て生まれるのかを知り、自分自身の制作を通じて理解を深め、表現の基礎力と展開の柔軟性を獲得することを目指す。

授業計画

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. オリエンテーション | 9. 共同制作3 グループ制作 素材を探る |
| 2. 造形・美術について | 10. 共同制作4 グループ制作 制作 [下図] |
| 3. 個人制作1 身近な素材で制作 [色彩について] | 11. 共同制作5 グループ制作 制作 [加工] |
| 4. 個人制作2 身近な素材で制作 [材料について] | 12. 共同制作6 グループ制作 仕上げ |
| 5. 個人制作3 身近な素材で制作 [道具について] | 13. 展示 |
| 6. 個人制作提出 レポート提出 | 14. 発表 鑑賞 |
| 7. 共同制作1 グループ制作 モチーフを探る | 15. レポート |
| 8. 共同制作2 グループ制作 テーマを出し合う | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

日頃、美術作品の観賞や画集を眺める等、表現に触れる機会をもつことが望ましい。また美術に限らず工芸、デザイン、建築といった分野に視野を広げることも良いでしょう。特に時間は定めない。

②使用教科書 なし

③参考書 指定なし

④持参するもの スケッチブック (F6 サイズ程度)、クレヨン、水彩絵の具セット、はさみ、のり、エプロン、カッター、カッターマット、作品持ち帰り用の袋 (大きめの紙袋等)、新聞紙など (養生用)

⑤成績評価 授業参加・発表 50%、作品 30%、レポート・感想文 20%

⑥学生へのメッセージ 汚れてもよい動きやすい服装をおすすめします。その他の持参品が必要な際は、その都度指示します。

⑦追試験

対象外科目

児童文学 (テキスト)

担当教員：川端 有子・奥山 恵

2年次～ 必修2単位 【芸術・子ども支援】

テキスト科目／2026年度

概要

本科目では、詩歌や絵本、伝承文学を含めた児童文学作品について知り、それらが知性や感性など、子どもの育ちにどのようにはたらくかを考えていく。また、古典的名作から現代の傑作まで、数多くの児童文学に触れることによって、すぐれた作品を見極める鑑識眼を養い、子どもたちに読書の楽しみを伝えるために必要な知識と技術を身につける。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP1, 児童DP2

到達目標

- ①詩歌や絵本、伝承文学、リアリズムやファンタジーなど、児童文学のさまざまなジャンルの特徴を知る。
- ②できるだけ多くの作品に触れ、それらを分析することによって、子どもの発達段階にふさわしい教材の選択ができる力を養う。
- ③子どもの読書活動の推進に役立つ知識や技能を身につける。

学習の進め方

1. テキスト第一部において児童文学とは何かということをしかりと理解したうえで第二部・第三部へと進み、ジャンルの全体像や関連トピックについての理解を深める。
2. テキストの解説をより深く理解するため、テキストの本文中で言及されている作品を実際に読む。そのうえで、テキストの解説を参考にしながらその作品の児童文学史の中での位置づけや評価について、自分なりの言葉で説明できるようにする。
3. 各章末のブックリストに挙がっている作品を、なるべくたくさん読み、「2.」で行なった学習を深める。
4. 子どもの読書活動の推進に役立つ情報が盛り込まれた「コラム」を熟読し、実践的知識と技術を身につける。
5. レポートの課題を確認し、テキストや参考文献を参照しながら学習する。
6. 指定の用紙により提出用レポートを作成し、提出する。
7. 科目修了試験対策としては、上記「1.～4.」を繰り返し行うことが効果的である。また、「コラム」と第二部の各章末に掲げられた「課題」に一通り目を通しておくことも重要である。

内容

第1回 子どもの本の分類	第9回 ノンフィクション
第2回 英米児童文学史	第10回 児童詩
第3回 日本児童文学史	第11回 児童文学の古典
第4回 神話・伝説・昔話	第12回 世界の児童文学
第5回 ファンタジー	第13回 戦争と平和を考える児童文学
第6回 リアリズム	第14回 絵本のいろいろ
第7回 冒険物語	第15回 幼年文学とYA文学
第8回 歴史物語	

テキスト・参考書

①テキスト 児童文学の教科書 (改訂新版) 川端有子 玉川大学出版部 2025

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 テキストの各章末を参照のこと。レポート作成に際しての参考書については、『レポート課題集』も参照のこと。

成績評価

①レポート 全体を100として、課題の理解30%、学生自身の学習成果40%、レポートの完成度30%とする。

②科目修了試験 第1問25点、第2問45点、第3問30点とする。

その他

レポート作成時にはテキスト227～230ページを熟読してください。

児童文学特論 (テキスト)

担当教員：奥山 恵

3年次～ 選択2単位

テキスト科目／2026年度

概要

児童文学の中でも、現代の日本の児童文学を取り上げます。2000年代以前から現在まで、広く活躍を続けている児童文学作家のインタビュー集をテキストに、作家の来歴を理解しながら児童文学の流れを捉え、また、実際に作品を読み広げて、現代日本児童文学の多様性を理解していきましょう。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP3

到達目標

- ① 現代児童文学作家たちの来歴を知りながら、現代児童文学の流れを学ぶ。
- ② できるだけ多くの作品に触れ、それらを分析することで、作品読解力を身につける。
- ③ 現代日本児童文学の時代性と多様性を理解する。

学習の進め方

1. テキストの作家インタビューを順次読み、作家の来歴や時代性を理解し、簡潔にまとめていく。
2. テキストのインタビューのなかで言及されている作品を作家につき3作程度は探して実際に読み、その内容や児童文学的な位置づけをまとめ、作品評価について自分なりの言葉で説明できるようにする。
3. 指定の用紙により、提出用レポートを作成し、提出する。
4. 科目修了試験対策としては、上記1～2をくりかえし行い、できるだけ多くの作品に目を通すことが効果的である。

内容

- | | |
|------------------------------------|----------------------------|
| 第1回 テキストの「はじめに」「目次」を読み、全体の構成を理解する。 | 第8回 岡田淳 作家と作品 |
| 第2回 石川宏千花 作家と作品 | 第9回 石井睦美 作家と作品 |
| 第3回 内田麟太郎 作家と作品 | 第10回 最上一平 作家と作品 |
| 第4回 新藤悦子 作家と作品 | 第11回 村中李衣 作家と作品 |
| 第5回 中澤晶子 作家と作品 | 第12回 高樓方子 作家と作品 |
| 第6回 指田和 作家と作品 | 第13回 ひこ・田中 作家と作品 |
| 第7回 令丈ヒロ子 作家と作品 | 第14回 朽木祥 作家と作品 |
| | 第15回 「解説」を読み、児童文学の歴史を理解する。 |

テキスト・参考書

- ① **テキスト** 『作家とランチ インタビュー・児童文学の13人』 日本児童文学者協会・編 りょうゆう出版 2025
テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。
- ② **参考書** テキスト内でとりあげられている児童文学作品全般

成績評価

- ① **レポート** 全体を100として、テキストの理解30% 学生自身の学習成果40% レポートの完成度30%とする。
- ② **科目修了試験** 第1問30点 第2問35点 第3問35点 とする。

幼年文学（前期土曜スクーリング）

担当教員：佐々木 由美子

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2026年度

概要

児童文学の中でも、特に幼い読者を対象とした幼年文学について学びます。さまざまな幼年文学作品にふれ、その楽しさを味わうとともに、作品を通して幼年文学の成立や変遷、作品の特性を明らかにし、幼い子どもにとっての文学とは何かを考察していきます。

授業の方法

【動画視聴型（manaba 利用）】

動画視聴型のオンライン形式で行います。スクーリング期間の毎週土曜日に、manaba をとおして音声解説付きの教材を配信いたします。学習後、確認問題を提出してください。提出をもって出席といたします。

学位授与方針との関係

児童DP1

到達目標

- ①幼年文学の変遷について理解する。
- ②多くの作品にふれるなかで幼年文学の特性や独自性を見いだす。

授業計画

イントロダクション：授業の進め方や注意事項について（manaba に事前掲示、いずれの回も manaba を利用）

（第1日）

1. 幼年文学とは何か
2. 子どもの発達と幼年文学

（第2日）

3. 昔話と幼年文学
4. 昔話とは
5. 昔話の受容

（第3日）

6. 幼児読者の誕生：幼稚園の誕生と談話
7. 明治期の幼年文学②：巖谷小波のお伽噺

（第4日）

8. 大正期の幼年文学①広介、未明の幼年童話
9. 大正期の幼年文学②絵雑誌と幼年童話
10. 児童文学冬の時代と幼年文学

（第5日）

11. 現代児童文学の幕開け
12. 児童文学期の幼年文学：中川李枝子の作品を中心に
13. 商品の時代～2000年代の幼年文学

（第6日）

14. 幼年文学とシリーズ
15. まとめ 幼年文学の未来・課題

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業内では1冊の作品をすべて読むことができません。取り上げた作品については、読み直すなど復習をしてください。1回の授業につき1時間程度、復習をすること。

②使用教科書 なし。

③参考書 授業内に紹介します。

④持参するもの 指定なし

⑤成績評価 毎回の授業時における課題60%と最終レポート40%

⑥学生へのメッセージ 幼年文学のたのしさをいっしょに味わっていきましょう。

⑦追試験 対象外科目

児童文化論（集中スクーリング）

担当教員：甲斐 聖子

1年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2026年度

概要

この授業では、現在の子どもを取り巻く環境について考えることから始まります。「児童文化」と呼ばれる子どもたちの文化財について知り、簡単な遊びや創作活動、実践演習を通して児童文化への関心を育て、保育への展開の仕方を学びます。

自分自身の幼少期や子育て期をふり返ることで、子どもの世界を見つめる機会をつくり、子どもにとっての遊びの意義や、心身の発達について理解するとともに、多様な児童文化財の特徴や活用方法を学び、児童文化の充実を図る力と態度を養います。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

児童D P1

到達目標

到達目標①現在の子どもを取り巻く環境に目を向け、問題意識を持つ。

到達目標②子どもたちの文化財にどのようなものがあるか理解する。

到達目標③児童文化財の活用方法を習得し、柔軟に日々の保育へ展開する力を養う

授業計画

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. イントロダクション 授業計画詳細の説明 | 9. 児童文化財を学ぶ⑤絵本 |
| 2. 子どもを取り巻く児童文化財 | 10. 児童文化財を学ぶ⑧テレ |
| 3. 児童文化財を学ぶ① 玩具 | 11. 報告会② Eテレウォッチング |
| 4. 児童文化財を学ぶ② 玩具市場規模調査から | 12. 児童文化財を学ぶ⑥日本アニメ発達のプロセス |
| 5. 報告会① カプセルトイウォッチング | 13. 鑑賞①メディアとしてのアニメーション |
| 6. 児童文化とはー児童文化運動についてー | 14. 鑑賞②日本のアートアニメーション |
| 7. 児童文化財を学ぶ③駄菓子 | 15. ディスカッション |
| 8. 児童文化財を学ぶ④紙芝居 | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

子どもをめぐる文化財について、日常的に多くの関心を寄せ、興味を持って具体的な事象を観察、考察してください。

また、授業中に、次の授業までに必要な予習・復習について指示します。1回の授業につき、予習・復習あわせて1時間程度。

事前課題 特にありません。

②使用教科書 授業に必要な資料等は配付します。

③参考書 授業に必要な資料等は配布します。

④準備するもの 授業初日に案内を出します。

⑤成績評価 授業参加・発表 50% 製作課題・レポート 50%とあわせて総合的に判断する。

⑥学生へのメッセージ

学生同士の協同の場も積極的に設けます。授業に主体的に参加できる方の受講をお待ちしています。

⑦追試験 対象外科目

子どもと絵本（夏期スクーリング）

担当教員：山本 美恵子

3年次～ 選択2単位 【認定絵本士】

スクーリング科目／2026年度

概要

子どもが絵本に出会うためには、周囲の大人が子どもの状況と絵本の有用性を理解し、子どもが関わるあらゆる場面で読書環境を整備することが必要です。公共図書館は地域の読書環境の核となって、子ども・保護者・保育者等にさまざまな取り組みを行っています。この授業では公共図書館の児童サービスを参考に、地域で子どもに絵本を手渡す意義と可能性、実践的手法を考えます。

授業の方法

【面接】

対面で授業を行います。指定した教科書に沿って講義を行い、その都度関係資料や絵本を紹介します。おはなし会やブックトーク等の授業では、必要に応じて演習を行います。

学位授与方針との関係

大学D P2, 児童D P2

到達目標

- ①子どもが絵本と出会う状況を理解する。
- ②絵本の世界を広げる技術を説明できる。
- ③子どもと絵本を結び、紹介する技術を理解する。
- ④地域の読書環境整備について説明できる。

授業計画

1日目

1. オリエンテーション
2. 自治体の子ども読書活動推進計画と絵本
3. 絵本と出会う①【はじめての絵本との出会い】

2日目

4. 絵本と出会う③【図書館での出会い】
5. 絵本のある空間【絵本のある望ましい空間とは】
6. 絵本を通じた子育て支援と地域連携～図書館での取り組みについて

3日目

7. 絵本と出会う②【保育・教育の場での出会い】
8. おはなし会の手法①【おはなし会を開こう】グループワーク

4日目

9. 絵本を紹介する技術②【書評・紹介文の書き方】
10. 絵本を紹介する技術③【支援が必要な人々や高齢者への絵本の役割】

5日目

11. 絵本の世界を広げる技術①【絵本を探す技術】
12. 絵本を紹介する技術①【ブックトークの技術】発表

6日目

13. 絵本の世界を広げる技術③【絵本コンシェルジュ術】
14. おはなし会の手法②【おはなし会のテクニック】教科書p.137の「ことりん」人形を製作
15. まとめ

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

絵本を子どもたちに手渡す手段と方法について、関心を持ちましょう。事前学習として、地域の公共図書館に足を運び、絵本を1冊借りてきて、1日目に持参してください。また図書館の児童コーナーと絵本棚の場所、配架方法もよく観察してきましょう。1日の授業につき、予習・復習あわせて1～2時間程度が必要です。

② 使用教科書

『認定絵本士養成講座テキスト 第2版』 絵本専門士委員会・独立行政法人国立青少年教育振興機構 発行 中央法規出版 2024年 978-4-8243-0056-0

③ 参考書

- 1) 『児童サービス論 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 6) 新訂版』 堀川照代ほか編著 日本図書館協会 2020年 978-4-8204-1909-9
 - 2) 『よみきかせのきほん 保育園・幼稚園・学校での実践ガイド』 東京子ども図書館編 東京子ども図書館 2018年 978-4-88569-227-7
 - 3) 『絵本の庭へ (児童図書館基本蔵書目録1)』 東京子ども図書館編 東京子ども図書館 2012年 978-4-88569-199-7
- その他は、授業で紹介します。

④ 準備するもの

1 日目と2 日目：地域の公共図書館から「子どもに手渡したい絵本」を1冊借りてきて、ご持参ください。事前学習の詳細やその他準備する本などは、授業開始の2週間前までにmanabaでお知らせします。(3 日目：おはなし会の手法①のグループワークで読む絵本、5 日目：絵本を紹介する技術①で発表する絵本、6 日目：おはなし会の手法②で人形製作に使用する道具や材料などを予定しています)。教科書は毎回持参してください。

⑤ 成績評価 授業時の意見や感想、主体的に参加しているか (40%) 課題やレポートへの取り組み、内容 (60%)

⑥ 学生へのメッセージ 認定絵本士養成講座の科目です。子どもたちの居る場所で、絵本をどう活用していくか、その背景にある考え方と、現場で活かせる実践的な手法を学びましょう。保育園・幼稚園・小学校・学童クラブ等子どもたちの現場を直接見学する機会があれば理想的ですが、難しい場合は、ご自身が絵本に触れてきた体験を思い起こしてみましょ。皆さんの様々な経験が、この授業の学びをより深いものにし、絵本を子どもたちに手渡す力になると思います。授業の連絡はmanabaで行います。manabaが利用できるようにしておいてください。

⑦ 追試験 対象外科目

特記事項 認定絵本士指定科目。正科生のみ履修可。受講者数を50名までとする。2021年度以降入学者のみ履修可。

絵本学概論（集中スクーリング）

担当教員：今田 由香

3年次～ 選択2単位 【認定絵本士】

スクーリング科目／2026年度

概要

絵本について学ぶ。人間の発達と絵本との関係を背景に、視覚表現としての絵本の在り方や絵本の構造について、より深い理解を培っていく。優れた絵本作家の作品に触れ、豊かな絵本世界を自分のものとしながら絵本を十分に楽しみ、作品の質を見極めるための知識と感性を身につける。赤ちゃんから高齢者までの読者を視野に入れ、多様な文化的背景とニーズをもつ人々と共に絵本を楽しむための方法を知り、絵本で何ができるのか、絵本を介して人と関わることで何が生まれるのかについて、実践と対話を重ねながら探究する。現在さまざまに試みられている絵本表現とその可能性にも目を向け、ひらかれた絵本論の構築に向かって思考する。

授業の方法

【面接】 対面で授業を行う。実際に絵本を開きながら、基礎的な知識を自分のものとし、実践と対話を重ねながら、絵本表現や絵本活用の可能性について考察する。

学位授与方針との関係

大学DP2, 児童DP1

到達目標

- ① 子どもの成長発達と絵本との関係が理解できる。
- ② 絵本についての基本的な知識を修得し、絵本を分析的に検討することができる。
- ③ 子どもから大人まで、幅広い年齢の読者に絵本との豊かな出会いを提案できる。
- ④ 絵本というメディアの本質とその読書の可能性について洞察できる。

授業計画

1日目：対面授業

1. オリエンテーション
2. 絵本総論（絵本とは何か）
3. 絵本各論③（子供の知的・社会的発達と絵本のかかわり）
4. さまざまなジャンルの絵本③（科学絵本）
5. 絵本と出会う④（書店での出会い）＊ゲストスピーカーの可能性あり

2日目：対面授業

6. 絵本各論①（絵本の歴史、絵本賞について）
7. さまざまなジャンルの絵本②（昔話、童話を基にした絵本）
8. さまざまなジャンルの絵本①（物語絵本）
9. 物語絵本を読み解く
10. ホスピタリティに学ぶ（人を楽しませる為の手法を学ぼう）＊ゲストスピーカー

3日目：対面授業

11. 絵本各論②（視覚表現、言語表現から見た絵本）
12. 心に寄り添う絵本（心のケアと絵本の可能性）
13. 大人の心を豊かにする絵本（人生で3度、絵本を手にする喜び、大人こそ絵本を）
14. ディスカッション（絵本専門士としての今後の活動）
15. ふりかえり

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

日頃から書店や図書館を訪れ、絵本に親しみ、絵本がある場所についてよく観察しておいてください。

この授業では、絵本をご自身でめぐりながら学んでいただきます。課題図書を指定しますので、事前に図書館で借りて読み、授業に持参してください。また、第1回目の学びを深めるために、各回の授業において参考文献も多く紹介します。

1回の授業につき、予習と復習あわせて2時間程度が必要です。

② 使用教科書

『認定絵本土養成講座テキスト』絵本専門士委員会・独立行政法人国立青少年教育振興機構発行 中央法規出版 2024年改訂版

③ 参考書 授業で紹介します。

④ 準備するもの 指定した絵本を事前に読み、授業にお持ちください。1日目の課題図書は下記のとおりです。近隣の図書館に蔵書がなくても他館から取り寄せてもらえることも多いです。授業に間に合うように早めに準備しましょう。

<1日目>

1. 『よあけ』ユリー・シュルヴィッツ 瀬田貞二訳 福音館書店 1977年
2. 4歳の子どもと楽しみたい絵本 1冊
3. 『さくら』長谷川摂子文 矢間芳子絵・構成 福音館書店 2010年

<2日目> <3日目> 授業開始2週間前までにmanabaでお知らせします。

⑤ 成績評価 授業に主体的に参加しているか 40% 課題やレポートの内容 60%

⑥ 学生へのメッセージ

絵本の質を見極めるための基礎的な知識や理論をしっかりと身につけていきましょう。ロングセラーから現代の絵本まで、幅広い年代の多様な絵本を取り上げます。先人たちが残してくれた絵本文化がどのようなものであったかを見つめ直し、それを次世代に受け継ぐために、またさらに豊かにしていくために、私たちに何ができるのかを一緒に考えてみましょう。

「絵本学概論」は認定絵本土養成講座の指定科目です。

認定絵本土の資格を取得するためには、2026年度に「子どもとマルチメディア」「子どもと絵本」の2科目も履修する必要があります。また、これらの授業に遅刻や欠席をした場合、認定絵本土の資格は取得できません。受講者の事情に応じた補講やオンライン配信はできませんので、学修環境と体調を整えて、計画的に履修してください。

連絡や課題提出にmanabaを使用します。ゲストスピーカーの都合により、学ぶ順番や事前課題が変更になることがあります。

1回目の授業の前に、必ずmanabaの掲示板を確認してください。

⑦ 追試験 対象外科目

特記事項 認定絵本土指定科目。正科生のみ履修可。受講者数を50名までとする。2021年度以降入学者のみ履修可。

児童福祉 (テキスト)

担当教員：阿久津 撰

1年次～ 必修2単位

テキスト科目／2026年度

概要

子ども家庭福祉の政策、法律、そしてそれを実施している機関について概略を理解する。また「子どもの権利に関する条約」の内容から「子どもの権利」についての考えを深める。そして最近の日本の社会で問題視されている「児童虐待」や「少子化」といった事象についても考察していく。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学D P1, 児童D P1

到達目標

- ①子どもに対して行う福祉サービスである「子ども家庭福祉」の全体像を知る。
- ②子どもを取り巻く社会状況について理解する。
- ③「子どもの権利」の受動的側面と能動的側面をはじめ内容を知る。
- ④児童虐待防止に関する施策や政策について概略を知る。

学習の進め方

1. テキストの関連ページをしっかりと読む。
2. 「学習の手引」に沿ってさらに再読する。その際重要な語句は特にまとめておく。
3. 興味のあるテーマについて参考文献を調べる。
4. 下書きのレポートを作成する。
5. 一読して自身はもちろん、人が読んでわかりやすい、説明が施されている文章か（接続詞などを用いて文脈ができていないかなど）確認する。レポートを提出する。
6. 科目修了試験に向けて、語句やトピックをまとめ直す。各行政機関の概要、それぞれの児童福祉施設の目的、児童虐待・少子化といった現象に関する重要事項はしっかり内容を把握し試験に臨むこと。

内容

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ① 現代社会と子ども家庭福祉 | ⑨ 障害のある子どもへの支援 |
| ② 子ども家庭福祉の意義と歴史的展開 | ⑩ 児童虐待・DVとその防止 |
| ③ 子ども家庭福祉の制度と実施体制 | ⑪ 社会的養護・少年非行 |
| ④ 児童福祉施設 | ⑫ ひとり親家庭・貧困家庭・外国籍の子ども |
| ⑤ 少子化と子育て支援 | ⑬ 子ども・子育て支援制度・ |
| ⑥ 母子保健 | ⑭ こども家庭庁 |
| ⑦ 子どもの健全育成 | ⑮ こども未来戦略・これからの子ども家庭福祉 |
| ⑧ 多様な保育ニーズへの対応 | |

子ども家庭福祉に関しては児童虐待、少子化といった現代の事象を受け法律や制度が変化しています。こども家庭庁、児童相談所など動きのあったところは目をよく通しましょう。また身近な福祉サービスとして母子保健サービスも概略を理解しましょう。児童福祉施設もその目的を知っておきましょう。

テキスト・参考書

①**テキスト** 改訂2版 最新保育士養成講座第三巻子ども家庭福祉 『最新保育士養成講座』総括編纂委員会 全国社会福祉協議会 2024、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②**参考書**
- ①国民の福祉と介護の動向 厚生労働統計協会 各年度
 - ②世界少子化考 子供が増えれば幸せなのか 毎日新聞社取材班 2022年

成績評価

①レポート 課題内容について理解できているか、文脈などを意識してまとめてあるか、最新のデータにあたり内容を深めてあるかをポイントとし総合的に評価。

②科目修了試験 第1問は45点満点、第2問は55点とし、知識の正確さを第一に考察力も加味して採点する。

その他

小見出しや記号を多用せず、接続詞を適切に用いて読み手に伝わるような文章作成を心がけてください。最後に課題に取り組み何がわかったのか、何を考察したのかを書きましょう。

家族心理学（夏期スクーリング）

担当教員：稲垣 綾子

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2026年度

概要

「家族」と一言でいえて、ひとつとして同じ家族はない。オリジナルな個性をもつメンバーから成る家族は、それぞれが発達課題に取り組みながら、一つのシステムとして全体を動的に形づくっている。子どもはもちろん、すべての人にとって非常に重要な存在である「家族」のさまざまな様相を、主として心理学の立場から取り上げる。「子どもにとっての家族」、「夫婦にとっての家族」といった断片から家族を理解するだけでなく、「全体としての家族」といったシステム的な家族理解についても学ぶ。また、家族と密接にかかわる現代の心理社会的問題についても触れ、家族の現状、意義、家族援助の方法を概観する。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（manaba, Zoom, Microsoft Teams 利用）】

学位授与方針との関係

大学DP3 児童DP1

到達目標

- ① 家族についてシステム論的な理解が説明できる。
- ② 現代の家族状況について説明できる。
- ③ 家族援助のアプローチの基礎が説明できる。

授業計画

- ① 講義ガイダンス：家族心理学とは
- ② 家族とは何か：家族に対する学際的なアプローチと視点
- ③ 社会・文化・ジェンダーと家族
- ④ 家族のライフサイクルにおける法と倫理：現代的な課題
- ⑤ 心のなかの葛藤と家族：精神分析の視点
- ⑥ フロイト以後の広がり与发展、対象関係
- ⑦ 個と家族と社会を理解する動的枠組み
- ⑧ システム・サイバネティクス
- ⑨ 家族関係の構造と機能
- ⑩ 家族アセスメントの視点・コミュニケーション理論
- ⑪ 個人・キャリア・家族の発達課題とライフサイクル
- ⑫ 家族援助・家族療法の実際
- ⑬ 家族に援助的にかかわる技法と空間
- ⑭ 家族関係を多様なレベルから捉え、複眼同時に理解する
- ⑮ まとめと全体の振り返り

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

家族に関する様々なニュースや事象に関心を持ってください。1回の授業につき最低1時間。

② 使用教科書 指定しない。レジュメ配付予定。

③ 参考書

家族心理学ハンドブック 日本家族心理学会編 金子書房 2019年

家族療法テキストブック 日本家族研究・家族療法学会編 金剛出版 2013年

家族心理学：家族システムの発達と臨床的援助（第2版） 中釜洋子ほか 有斐閣ブックス 2019年

ジェノグラム-家族のアセスメントと介入 モニカ・マクゴールドリックほか(著) 金剛出版 2018年

④ 持参するもの なし

⑤ 成績評価

小レポート（授業参加度）、最終試験により行う。評価の比率は小レポート（授業参加度）50%、最終試験を50%とする。

⑥ 学生へのメッセージ

自分や友だちの家族について、普段からよく観察し考える姿勢を望みます。
家族をシステムという見方で理解することを学んでください。

⑦追試験

対象外科目

算数（テキスト）

担当教員：勝進 亮次

3年次～ 選択2単位

テキスト科目／2026年度

概要

算数科の目標及び内容について考察し、数学的な思考力・表現力についての理解を深める。数学的活動を通じた知識・技能の習得と数学的な思考力・表現力の育成とともに算数を主体的に学び、そのよさを実感し、新たな学習や日常生活に活用できる力を育む算数学習について考察する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP1 児童DP4

到達目標

- ① 学習指導要領の目指す算数科の目標を理解する。
- ② 算数科の内容と学年の発達段階に応じた系統を理解する。
- ③ 指導内容の要点を把握する。
- ④ 数学的活動を体験する。

学習の進め方

新学習指導要領に基づいた本テキストと『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 算数編』（文部科学省発行）を読み深め、算数科の目標や指導内容を学習し、テキストの各章の「研究問題」に取り組む。

内容

1. 算数科の目標と数学的な思考力・判断力・表現力
2. 問題解決的な授業の意義と構成
3. 数学的活動の意義と内容
4. A領域：数と計算(1) 整数・小数・分数
5. A領域：数と計算(2) 加法・減法・式
6. A領域：数と計算(3) 乗法・除法・式
7. B領域：図形(1) 図形概念・平面図形の性質・面積・平行垂直
8. B領域：図形(2) 立体図形の性質・体積・縮図拡大図
9. C領域：測定(1) 測定の原理・長さ・かさ・重さ・広さ・時刻と時間・単位と測定
10. C領域：変化と関係(1) 伴って変わる二量・異種の二つの量の割合・グラフ
11. C領域：変化と関係(2) 割合（百分率）・比例・比
12. D領域：データの活用(1) 数量の表現・表とグラフ・分類整理
13. D領域：データの活用(2) データの考察・起こり得る場合
14. 学習指導案の作成
15. まとめ・教材研究

テキスト・参考書

- ①テキスト 新版 算数科教育研究 算数科教育学研究会編 東洋館出版社 2019
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説・算数編（文部科学省）

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書 小学校算数科用 文部科学省検定教科書

成績評価

- ①**レポート** 全体を 100%として、課題に正対し適切に論述していること (70%) 課題に対する自分の見解が述べられていること (20%) レポートの完成度 (10%) として評価する。
- ②**科目修了試験** 論述形式の出題とし、概ね基礎知識 30% 考察力 25% 論理的思考力 25% 自己表現力 20%の割合で評価する。

その他

科目修了試験に向けては、内容に従ってテキストを熟読し、各章の「研究問題」に取り組んでください。「研究問題」に関連した内容を出題します。

出版物やインターネットによる情報収集 (指導案等) によって、具体的な指導内容や方法を理解した上で、試験に臨んでください。

生活（夏期スクーリング）

担当教員：根本 裕美

3年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2026年度

概要

生活科の理念や思想、教科目標や内容構成、生活科の特質、教育課程との関連等を、講義を通して学び理解する。また、生活科で取り上げる9つの内容について調べまとめたり、探検活動や表現活動を行ったりし、体験的に学び、理解を深める。授業は、講義、発表、制作、レポート作成等多様な活動を取り入れ、受講者が能動的に学びを創りだせるようにする。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

児童DP1 児童DP4

到達目標

- ①生活科の誕生や思想、生活科の目標や内容、特質、教師の役割等を理解することができる。
- ②生活科の内容に関わり学んだことや体験したことを、工夫したり協働したりして分かりやすくまとめ、発表することができる。
- ③幼児教育や総合的な学習の時間と生活科のつながりを理解することができる。

授業計画

1. オリエンテーション、小学校における生活科の位置付け
2. 生活科の目標：教科目標
3. 生活科の目標：学年の目標
4. 生活科の学習指導の特質：児童の思いや願い、生活圏で学習、自分への気付き等
5. 生活科の誕生及び思想：生活科誕生までの経緯
6. 生活科の内容構成
7. 生活科の内容研究①～内容（1）（2）（3）（4）（5）
8. 生活科の内容研究②～内容（6）（7）（8）（9）
9. 生活科の内容（1）「学校と生活」に関わる探検活動の体験
10. 生活科の内容（1）「学校と生活」に関わる探検活動の表現
11. 生活科の内容（1）「学校と生活」に関わる探検活動の発表
12. 保育所・幼稚園と小学校の連携：幼児教育 スタートカリキュラム 「架け橋期」カリキュラム
13. 生活科の発展：中学年以上の学習 総合的な学習の時間
14. 生活科と教師の役割：生活科の授業と教師の役割、見取りと評価
15. まとめ：生活科の理解 自己の変容

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

『小学校学習指導要領解説生活編』（平成29年版）を事前に読み、基本的な知識を得ておくこと。可能であれば小学校で実際に使用されている生活科の教科書を見ておくことが望ましい。内容研究に関わるポスター制作や発表の際には、講義時間外に準備や練習を行う時間が必要となる。（2回：総計10時間程度）

②使用教科書 『小学校学習指導要領解説 生活編』文部科学省（平成29年版）東京書籍

- ③参考書
- 「MINERVA はじめて学ぶ教科教育10 初等生活科教育」片平克弘・唐木清志 編著（ミネルヴァ書房）2018年
 - 新・教職課程演習 第15巻 「初等生活科教育、初等音楽科教育、初等図画工作科教育、初等家庭科教育、初等体育科教育、初等総合的な学習の時間」石崎和宏・中村和世 編著（協同出版）2021年
 - 「幼稚園教育要領解説」文部科学省（フレール館）2018年

④準備するもの ○上記指定の使用教科書

○授業計画7～11に関わる準備の詳細は、1日目の授業時に連絡するが、マジック、のり、はさみ、定規など、ポスターや発表作品の制作に関わる用具は持参すること。

⑤成績評価 毎時間のレポートや積極的な取り組み態度：50%、発表や制作物：50%

⑥学生へのメッセージ

生活科は幼児教育と小学校教育の接続に当たる教科です。体験的な活動や、学生の皆さんからの発表などを取り入れ、実感的に理解を深める授業にしていきたいと思っております。補助テキストについてはManabaに掲載しますので確認の上、参加してください。

⑦追試験 対象外科目

子どもと健康・運動（前期土曜スクーリング）

担当教員： 澤田 美砂子・吉田 真咲

2年次～ 選択2単位

スクーリング科目／2026年度

概要

領域「健康」の指導に関わる、幼児の心身の発達や運動発達、基本的な生活習慣、安全な生活などの専門的事項についての知識を身に付けるとともに、環境の構成や工夫、指導における留意点を考慮しながら、様々な教材（遊具）を用いて子どもの発達に則した運動遊びのあり方について、実践を通して学ぶ。

授業の方法

【面接】講義および実技を行う。実技ではグループワークを行うこともある。

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ①幼児期の身体の発達と運動の発達の様相をふまえ、運動遊びの内容や必要な環境構成について理解し、指導案の立案や運動指導を行うことができる。
- ②各種の運動の特性に触れながら、運動を実践できる。
- ③幼児期に必要な基本的な生活習慣の形成とその意義、安全教育や健康管理に関する基礎知識について理解している。

授業計画

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 幼児期の健康と運動 [講義] | 9. 幼児期の運動遊びと動機づけ [講義] |
| 2. 幼児期の運動能力の低下とその現状 [講義] | 10. なわ・フープを使った運動遊び【実技】 以上第4日 |
| 3. 運動遊びを楽しむからだづくり【実技】 以上第1日 | 11. 幼児期の運動指導のポイント [講義] |
| 4. 幼児期の身体発達と運動 [講義] | 12. ボールを使った運動遊び【実技】 以上第5日 |
| 5. 幼児期の心理的発達と運動 [講義] | 13. 幼児期の安全教育と安全管理 [講義] |
| 6. 鬼遊び【実技】 以上第2日 | 14. 幼児期の健康と運動に関わる現代的な課題 [講義] |
| 7. 幼児期の生活と運動 [講義] | 15. マット・巧技台を使った運動遊び【実技】 以上第6日 |
| 8. 身近な素材を使った運動遊び【実技】 以上第3日 | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

幼児期を中心とした子どもの運動遊びのあり方について、教科書をよく読み、予習しておいてください。この事前学修には1回の授業につき1時間以上必要です。また、毎回各自で取り組める実技がありますので、体を動かせるよう、スクーリング期間前から1日30分程度はストレッチや軽運動を行い、体調を整えておいてください。

②使用教科書 『保育と幼児期の運動あそび（第二版）』岩崎洋子 萌文書林 2018年

③参考書 指定なし

④準備するもの 運動着、体育館シューズ、飲み物、タオル等

⑤成績評価

目標達成度（70%）と運動やグループディスカッションに取り組む姿勢（30%）により総合的に評価する。指導案は第1日目に課題を出し、授業最終日に提出する。

⑥学生へのメッセージ

実技は運動遊びが中心で過度に激しい運動は行いませんが、各自体調を整えて怪我のないよう気を付けてください。運動遊びを楽しみ積極的に実技に取り組むことを期待します。

⑦追試験

対象外科目

子どもと人間関係 (テキスト)

担当教員：糸原 淳子

2年次～ 選択2単位

テキスト科目／2026年度

概要

現代社会における人間関係の諸課題と幼稚園教育要領等に示された領域「人間関係」の内容について理解し、乳児期から幼児期の発達の特徴を踏まえ、子どもが周囲の人たちとの関わりを広げ、つながりを深めていく過程を支える保育者の役割を理解する。テキスト内の演習にも自主的に取り組みながら学習内容を深めるとともに、小レポートについて実際の保育場面を想定しながら作成し、保育を構想する力を磨く。さらに乳幼児期の人との関わりが、生涯を生きる力の基礎となるよう指導・援助できる保育者の資質を習得する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2 児童DP3 児童DP4

到達目標

- ① 現行の幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園保育・教育要領における領域「人間関係」の内容を理解する。
- ② 生涯にわたり豊かな人間関係を築いていくための基盤を育むために、乳幼児期の発達や個に応じた指導を行う保育者の役割について理解する。
- ③ 具体的な保育を想定したレポートや指導案の作成を通し、保育者の専門性を理解する。
- ④ 領域「人間関係」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。

学習の進め方

テキストを学習後、レポート課題に着手し、参考文献にもあたりながらレポートを作成する。テキスト・関連文献との整合性等を確認した後、レポートを清書し、提出する。レポート合格後、科目修了試験に向けてテキスト・関連文献によりさらに学習する。

内容

1. 第1章 幼児教育の考え方と領域「人間関係」 幼児教育の基本
2. 第1章 幼児教育の考え方と領域「人間関係」 幼児期に育みたい資質・能力と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
3. 第1章 幼児教育の考え方と領域「人間関係」 領域「人間関係とは」
4. 第2章 保育者の役割と「人間関係」 乳児期・幼児期の人と関わる力の育ちと保育者の役割
5. 第2章 保育者の役割と「人間関係」 乳幼児の人と関わる力を育む保育者の役割
6. 第3章 乳幼児期の発達と領域「人間関係」
7. 第4章 個と集団の育ち ～集団化のプロセス～ 集団の意義と集団づくりのポイント
8. 第4章 個と集団の育ち ～集団化のプロセス～ 協同性と葛藤体験
9. 第5章 実際の子どもの生活 子どもの言葉と人間関係
10. 第5章 実際の子どもの生活 子どもの遊びと人間関係
11. 第5章 実際の子どもの生活 子どもの生活と人間関係
12. 第5章 実際の子どもの生活 子どもの活動と人間関係
13. 第6章 幼児教育の現代的課題と領域「人間関係」 小学校との連携・接続
14. 第6章 幼児教育の現代的課題と領域「人間関係」 子どもを取り巻く地域や高齢者との交流
15. 第6章 幼児教育の現代的課題と領域「人間関係」 保護者との関わり・保育者同士の人間関係

テキスト・参考書

①テキスト

「実践から学ぶ 子どもと人間関係」 浅見均編著 大学図書出版 2018、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書

「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「認定こども園教育・保育要領解説」

成績評価

①レポート

・課題の的確な理解、テキストでの学習の成果、子どもの視点を踏まえた自身の考えの記述、具体的な指導案の作成について、総合的に評価する。

②科目修了試験

・論述形式の出題とし、子どもと人間関係についてテキストの内容を踏まえた具体的かつ論理的な記述など、総合的に評価する。

特記事項 2023年度以降入学者のみ履修可

子どもと環境（テキスト）

担当教員：浅野 由子

2年次～ 選択2単位

テキスト科目／2026年度

概要

子どもたちを取り巻く生活の場としての「環境」の重要性や、子どもと「環境」の関わりについての専門的事項から総合的な感性を養い、多角的な視点から「環境」の知識と技能を身につける。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ①子どもを取り巻く「環境」と、幼児の発達にとっての意義を理解することができる。
- ②子どもの身近な「環境」との関わりにおける思考・科学的概念の発達を理解することができる。
- ③子どもの身近な「環境」との関わりにおける標識・文字等、情報・施設等との関わりを発達を理解することができる。

学習の進め方

1. テキストを学習する。
2. 章ごとあるいは複数の章の学習を終えたところで関連する文献を調べる。その後、レポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・関連文献に基づき学習する。
3. レポートの下書きを作成し、テキスト・関連文献との整合性等を確認した後、レポートを清書し、提出する。
4. レポート合格後、科目修了試験に向けてテキスト・関連文献によりさらに学習する。

内容

1. 幼児教育の基本と領域（環境） ※(1)第1章（6-7除く）(2) PART 1－第2章、第3章
2. 環境の定義と諸側面（人的環境・物的環境・自然・社会環境・地球環境）※(1)第1章-7、(2) PART 1－第1章
3. 人的環境としての保育者・友達など ※(1)1章-6、第2章
4. 子どもの発達（年齢）段階に応じた遊び環境 ※(1)第3章
5. 自然環境という言葉の定義と保育実践例 ※(2) PART 2－第2章、
6. 自然環境としての生き物・植物・自然の事象など ※(1)第4章
7. 物的環境としての遊具・素材・設備など ※(1)第5章
8. ものとの関わりでの保育実践例 ※(2) PART 2－第1章
9. 時間と空間（文字・標識・数・図形） ※(1)第6章
10. 数量・図形・標識・文字を活かした保育実践例 ※(2) PART2-第3章、第4章
11. 社会環境を活かす保育実践例 ※(2) PART2-第5章、第6章、第7章
12. 行事・地域との関わりなど ※(1)第7章
13. 乳幼児期の安全な環境及び思考力・道徳力の芽生えを育む保育 ※(1)第8章
14. ICTを利用した実践例 と小学校以降の教科とのつながり ※(1)第9章
15. まとめ

※ 内容に関して、特に記載されているテキストの箇所です。焦点を絞る際に、参考にしてください。

テキスト・参考書

①テキスト

- (1) 『領域「環境」』無藤隆 萌文書林 2018
- (2) 実践例から学びを深める保育内容・領域『環境指導法』わかば社 2021

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書

- ・『幼稚園教育要領解説（平成30年3月 文部科学省）』フレーベル館 2018
- ・「絵本で読みとくSDGs」水声社 中川素子・浅野由子編 2022

成績評価

①レポート

- ・与えられたテーマに関して、内容的確さ、正確さ、論理性を含め、総合的に評価する。
- ・課題の理解30%、テキストでの学習成果50%、レポートとしての完成度20%

②科目修了試験

- ・論述形式の出題、知識40% 理解30% 論理的思考力20%、記述力10%
- 注) 内容1～15に関わる課題を、テキスト(1)(2)の全体像を把握した上で、記述していただきます。

子どもと言葉（テキスト）

担当教員：大沼 郁子

2年次～ 選択2単位

テキスト科目／2026年度

概要

幼児期の言葉の獲得における言語環境の重要性を認識し、領域「言葉」のねらい及び内容についての理解を深め、保育者の日々のかかわり方や絵本などの保育教材の扱い方など保育者の役割と援助について理論と実践の両方に触れながら学ぶ。多様で豊かな遊びや児童文化財について学び、それらを活用しながら、子どもの言葉を育てる環境や活動を学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

児童DP2

到達目標

- ①幼稚園教育要領の領域「言葉」の基本的事項や意義を理解し、幼児期の言葉の発達とその特徴を理解する。
- ②保育者としてのかかわりや保育教材（絵本、紙芝居等）について実際の保育場面に即して考えることができ、指導計画を立てられる。
- ③小学校教育との円滑な接続や保育内容の現代的課題を踏まえ、幼児期にふさわしい生活と援助、のぞましい環境の構成について、総合的に捉える視点を養い、学びを深めることができる。

学習の進め方

1. テキストを学習する。
2. 章ごとあるいは複数の章の学習を終えたところで関連する文献を調べる。その後、レポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・関連文献に基づき学習する。
3. レポートの下書きを作成し、テキスト・関連文献との整合性等を確認した後、レポートを清書し、提出する。
4. レポート合格後、科目修了試験に向けてテキスト・関連文献によりさらに学習する。

内容

1. 乳児期のことば 言葉とは何か
2. 子どもの成長と言葉の発達（0～1歳児頃）
3. モノへの関心と行動の広がり（1～2歳児頃）
4. 象徴能力の発達
5. 自我のめばえと行動が語る言葉（あかちゃん絵本）
6. 他者との関わりと言葉（遊びをとおして）
7. 行動のひろがりと言葉
8. 感情表現と言葉
9. 幼年文学（3歳児頃）
10. 昔話の言葉とリズム
11. 想像力の発達とアニミズム（3歳頃）
12. 言葉による志向のめばえ（4～5歳頃）
13. 未知の言葉の獲得と自己世界の広がり
14. 特別な配慮や支援が必要な子どもとの関わり
15. まとめ

テキスト・参考書

① テキスト

『子どもとことばの世界』今井和子 ミネルヴァ書房 1996年

② 参考書

『幼稚園教育要領解説（平成30年3月 文部科学省）』フレーベル館 2018

『事例で学ぶ保育内容 領域言葉』萌文書林 2018

『子どもとことば』岡本夏木 岩波新書 1982

『ことばと発達』岡本夏木 岩波新書 1985

成績評価

① レポート

- ・与えられたテーマに関して、内容的確さ、正確さ、論理性を含め、総合的に評価する。
- ・課題の理解30%、テキストでの学習成果50%、レポートとしての完成度20%

② 科目修了試験

- ・論述形式の出題とし、知識40% 理解30% 論理的思考力20%、記述力10%

特記事項 2023年度以降入学者のみ履修可